

## 2) 畜産物の消費

豚肉を中心とした畜産物は中国国民の主要副食であり、上記のとおり世界に冠たる生産国であるものの、10億もの国民1人当たりの消費量は、同様に穀類を中心とした食生活である我が国の消費量と比べてみても低いと言わざるを得ない。

しかしながら、最近、生活水準の改善等に伴い、畜産物の需要は増大している。ちなみに、農民1人当たりの消費量は、1980年から1984年までの5年間に年平均概ね10%ずつ伸びている。このような数量の伸びとともに、酒の消費量の年平均伸び率16.5%に象徴されるように、生活のゆとりから高品質のもの、嗜好品等を求める傾向が現れている。食肉では脂肪分の多いものから赤肉のものが求められつつあり、豚ではそのような方向で品種改良が進められている。牛肉については、赤肉嗜好あるいは国際ホテル、レストラン等からの需要の増加、加えて、食用として特に豚肉を食さない回教徒への安定供給についての配慮から、供給も伸びつつある。

なお、第7次5カ年計画もこのような需要動向を踏まえたものとなっている。

表-22 農民1人当たりの家計消費量

単位：kg, ( % )

区 分 年	豚 肉	牛・羊 肉	家きん肉	卵	穀 物	酒
1978	5.17	0.59	0.25	0.80	248	1.22
1980	7.27	0.48	0.66	1.20	257	1.89
1981	8.17	0.54	0.71	1.25	256	2.32
1982	8.36	0.69	0.78	1.43	260	2.73
1983	9.30	0.67	0.82	1.57	260	3.20
1984	9.93 ( 8.1 )	0.69 ( 9.5 )	0.94 ( 9.2 )	1.84 ( 11.3 )	267 ( 1.0 )	3.48 ( 16.5 )

(注)：1984年の( )は1980年から1984年までの年平均伸び率

## (6) 山東省の代表的な牛の品種と品種特性

(注) 品種特性として測尺値を入れたが、中国における飼養管理技術が必ずしも十分でないため、紹介した数値が各品種の最大能力としての資質を意味したものでないことを考慮しておく必要がある。

## 1) 黄 牛

中国では、一般に牛というと黄牛を指すほど広範に飼われており、その代表的なものとして、魯西黄牛、南陽牛、普南牛、奏川牛、延辺牛等がある。

### ① 魯西黄牛

#### イ. 原産地及び分布

山東省西部、黄河以南、运河以西一帯が原産地である。分布の中心は、山東省西部の済南（嘉祥、漢上、金郷、済寧等）、荷沢（梁山、巨野等）である。

#### ロ. 体系及び外貌

体軀は高く大きい、体長はやや短い。骨格は細く、筋肉の発達が良い。前軀が比較的大きく、背腰は広く平らで、体型の測望は長方形をしており、肉用牛としての体型を有している。毛色は紅黄、淡黄色が比較的多い。体型から大型牛、中型牛、中間型の3種類がある。

大型牛：高嶺牛とも称し、四肢が長く、体軀は短い。胸囲は小さく、骨格は細く、動作は機敏である。

中型牛：抓地虎とも称し、四肢は太く、短かく、体軀は長く、骨格は細く、動作はやや緩慢である。

中間型：大型牛と中型牛との中間型

これら3種ともに外貌等に共通点が多い。雄牛は頭がやや短く、鼻梁はやや隆起している。雌牛は頭がやや長く、頸は細長い。

#### ハ. 繁殖能力

雌牛は、8ヵ月令で性成熟に達するが、実際には1.5～2才に共用開始する。性周期は21～25日、発情持続時間は老牛で1～1.5日、壮令牛で2～3日である。

#### ニ. 産肉能力

粗飼料の利用性に富んでおり、肥育も容易で肉質も良く、脂肪の沈着も良好で、「大理石紋状」を呈する。輸出用に肥育が行われているが、その枝肉歩留は55%、部分肉歩留は45%程度である。

## 2) 南陽牛

### イ. 原産地及び分布

河南省の南陽地区が原産地である。

北は伏牛山、南は桐相山の間盆地にある白河、唐河、丹江の流域にある各県に分布しているが、分布状況により（体型により）、高脚牛、短脚牛、矮脚牛に分類

高脚牛：南陽新野、唐河などの平原地区、特に南陽に多い。

短脚牛：唐河、南陽、新野及び方城の各県に多い。

矮脚牛：新野、泌陽東部、方城西部の山区に多い。

## ロ、体型及び外貌

中国の代表的な役用牛の品種で、体型は大型、体積も豊かで、行動も機敏で、環境に対する適応性も高く、粗飼料の利用性にも富む。その体型的特徴から、高脚牛、短脚牛、矮脚牛に分類されるが、現在、短脚牛、矮脚牛の頭数は少ない。

高脚牛：一般に体高が高く、かつ体長も長い。行動は敏しょうであるが、持久力に欠ける。毛色は、紅黄色、草白色が多い。

短脚牛：体型的には、高脚牛と矮脚牛との中間型で体長は長く、胸部はよく発達し、四肢強健で、管囲も大きい。毛色は、黄色や紅色が多い。

矮脚牛：犏地虎とも称され、体型は小さいものの、体長は長く、四肢は短く、胸囲率は大きい。行動は緩慢であるが、持久力は強い。毛色は紅青色、黄青色等が多く、部分的には、眼の周囲、尻が黒い。

## ハ、繁殖能力

雄については、2才から繁殖供用可能であり、一般的に3～6才に繁殖機能が最も高い。

雌については、一般的に2～13才頃まで繁殖に供用される。

## ニ、産肉能力

粗飼料の利用性に富む。肉質はきめこまかく、かつ、やわらかい。肉色は鮮紅色で、脂肪交雑は明瞭である。

## 3) 晋南牛

### イ、原産地及び分布

山西（晋南地区）地方を原産地とする。

その分布は比較的広く、北部は臨汾、滎山、河津、軽翼城、降泉、垣曲、南部は中条山、黄河、西部晋南地区に多い。

### ロ、体型及び外貌

中国の誇る伝統的な良種黄牛の1つで、華北牛の類型に体型は大きく、骨格はしっかりと、筋肉は発達し、強健である。頭は大きく、頸は短かく、胸垂が発達している。胸は深く、前軀が発達しており、背部は平直で長さもほどよく、腰はしっかりとし、臀部は長く、幅広く、平たく、背腰部から臀部にかけての肉づきが豊かである。四肢はしっかりとしており、蹄は大きく丸い。

### ハ、産肉能力

肥育を行ったものでは、肉質も良く、脂肪交雑もほどよいものとなっている。

## 4) 秦川牛（関中牛）

### イ、原産地及び分布

秦嶺以北、渭川流域の陝西省関中平原地区に分布し、感陽、興平、武功、乳泉がとりわけ有名である。

ロ. 体型及び外貌

体型は大型で、骨格は太くてしっかりとし、胸は深みがあり、体積も豊かである。特に、雄は胸部が更に発達し、背腰は平直で、長さもちょうど良い。多くが、斜尻又は突尻で、四肢は太く、前脚の間隔が広い。被毛は柔らかく、光沢があり、色は紫紅色、黄色である。

ハ. 繁殖能力

雄については、2才頃から繁殖に供用するが、3～5才が繁殖能力は最高である。

雌については、2～2.5才で交配を開始し、10～13才まで供用される。

ニ. 産肉能力

肥育しやすく、肉質は細致である。

5) 延辺牛

イ. 原産地及び分布

原産地は吉林省延辺、朝鮮族自治州、遼寧、黒龍江省などに分布している。

ロ. 体型、外貌

頭部はやや小さく、額部は広く平で、角間は広い。雄は頸部が瘤状に隆起している。延辺牛は一般に胸が深い。

(2) 外国種

中国は、在来種の品種改良等を目的として外国種を導入してきたが、そのうちヘレフォード種、シャロレ種については体型が期待したほど大きくなかったこと、難産等の理由により既に淘汰され、それらの他ではシンメンタール種が有望品種として残っている。

シンメンタール

① 原産地及び分布

スイス西部のシンメンタール地方の原産であり、アルプス山岳地帯を中心とする欧州に多い。乳、肉、役用の3兼種として、各国が導入したところから、世界に幅広く分布している。

② 体型及び外貌

ヨーロッパ牛のうち最も大きいものの1つであるが、兼用種として、肉あるいは乳のどちらに重点を置いた改良方針であるかによって、体型に違いがみられる。肉用種として改良したものは、一般的に肩幅広く、肉付きがよい。中軀の深みは十分でないが、肋張りは良く、後軀の幅にも富んでいる。

③ 繁殖能力

性成熟、性周期等は他のヨーロッパ牛と変わらない。

④ 産肉能力

体質は強健で、粗放な管理に耐え、飼料の利用性に富む。中国では、産肉性よりむしろ肉質が良いとの評価を受けている。

表-23 山東省の牛, 代表的品種の体尺

単位: Cm, kg

	品 種	性 別	体 高	体 長	胸 囲	管 囲	体 重	備 考	
1	魯西黃牛 大型牛	♂	150 ~ 155.5	156 ~ 170	207 ~ 218	19~ 22.5	584 ~ 707		
		♀	127 ~ 140	128 ~ 155.5	159 ~ 193	14~ 18	296.5 ~ 479		
	中型牛	♂	125 ~ 145.5	137 ~ 162	175 ~ 204	17.5~ 21	590 ~ 703.5		
		♀	119 ~ 128.5	120 ~ 155	156 ~ 183	14.5~ 17	266 ~ 420.5		
	中間型	♂	137.8	146.6	190.8	18.7	472.9		
		♀	123.6	136.7	166.3	15.6	344.4		
	2	南陽牛 高脚牛	♂	142.3	158.7	187.6	19.3	478	
			♀	132.4	140.5	165.0	16.5	363	
短脚牛		♂	141.2	140.2	184.7	18.7	471		
		♀	126.7	159.8	165.8	15.3	300		
矮脚牛		♂	137.8	154.2	185.8	17.4	379		
		♀	125.9	139.0	163.6	15.6	324		
平均		♂	141.4	151.0	185.8	18.5	405		
		♀	127.8	139.8	164.8	15.8	329		
3	晋南牛	♂	139.7	173.3	201.3	21.5	650.2		
		♀	124.7	147.5	167.3	16.5	382.3		
4	奏川牛	♂	140.2	157.7	198.5	20.0	526.0		
		♀	124.9	140.6	167.2	16.7	366.0		
5	延辺牛	♂	142	171	217	23	600		
		♀	122	141	168	20	400		

(参考-1)

魯西黃牛の發育等の概要

(1) 体重の推移 (野外例)

単位：kg

		生 時	1 年	2 年	5 年	
体 重	♂	26.4	266.9	367.5	644.4	
	♀	22.6	209.2	288.4	365.8	
日増体重	♂	0.68		0.67	0.63	0.59
	♀	0.55		0.52	—	0.46

(2) 桃村肉用牛肥育場の輸出用肥育例

① 肥育素牛の選定基準

2.5～3才で、魯西黃牛の体型標準にあうものであって、体重500kg程度のもの (去勢牛)

② 肥育終了時の体重

545～745kg, 平均622.5kg

(3) 中国から和歌山県に贈られた雄牛の体尺の推移

単位：kg, cm

測 尺 月 日	3/20	5/1	6/24	7/24	8/25	9/25	10/23	11/25
月 令	16	17	19	20	21	22	23	24
体 重	294	345	400	415	443	470	502	528
体 高	122.4	130	134.8	134.8	137	138	140.2	141
体 長	132.8	135.2	140.2	147.8	148.2	148.4	149	153
胸 囲	155	163	172	175	178	182	188	189
胸 深	58	61	65.8	67.8	68.2	68.6	68.6	69.6
胸 巾	35	43.2	47	47.3	47.5	48	51	53.8
座 骨 巾	25.2	28	29.8	30	30.8	31	31.2	32
管 囲	15.8	16	17	17.5	18	18	18	18

(参考-2)

桃村肉用牛肥育場

輸出検疫のひとつである農場検疫のモデルとして山東省煙台地区栖霞県桃村に設置されたものである。桃村は煙台市から60Km程度、青島方向に寄った地点にある。

同肥育場は桃村駅の裏手に位置し、広さ約1.5haの敷地に倉庫を改造した牛舎があり、その周囲を塀で囲ってある。改造牛舎は開放式で、不断給餌を行っている。又、床面の乾燥は極めて良好で、枡場を備え、正面入口と牛舎入口の2カ所に消毒槽を設置している。収容能力は2~300頭である。

素牛の選定については、体高、胸囲、毛色、皮膚の状況を調べ、結核病、ブルセラ病の検査をした上で行っている。なお、導入前には炭疽の予防注射を実施している。

見学时繋養されていた8頭については、肥育状態は良好で、皮膚、蹄の状況も特に不良のものは認めないものの、過長蹄が散見された。

管理については、2人の責任者のほか若干名の作業員が従事しており、衛生関係の指導、監督は桃村地区の郷鎮畜牧獣医ステーションが担当している。

(7) 飼料事情

1) 現在の肉用牛の飼育条件

牛肉消費を目的とした肉用牛生産の歴史は、前述のとおり非常に短く、かつ、浅いところから、飼料基盤が不十分で、肥育用飼料等は量的に少ない。通常、給与されている飼料は、次のとおり、副産物、余剰産物中心となっている。

夏期 : 野草放牧

秋~春期: 粗飼料(芋のつる, 落花生, とうもろこしの葉, 茎等)

濃厚飼料(とうもろこし, ふすま, 落花生の粕等)

2) 山東省の飼料生産

① 濃厚飼料

山東省は中国の中で主要な農業省であり、1986年には小麦等が下記のとおり3,250万トン生産される見通しである。

小麦	: 1,560万トン
とうもろこし	: 1,000
いも類	: 425
大豆	: 90
その他	: 175
計	: 3,250

これらのうち、あるいは、山東省から次のものが濃厚飼料として1,335万トン(煙台地区: 100万トン)供給される見通しである。

とうもろこし等	：	1,050	万トン
ふすま	：	100	
大豆粕	：	8.5	
落花生粕	：	29.5	
その他粕	：	100	
その他	：	47	
計	：	1,335	

配合飼料については、畜産専門戸（収入60%を畜産経営で得る農家、特に養鶏）の数が多くなるにつれ、その需要が多くなり、1983年に生産が開始された。年間約120万トン生産されるが、そのうち85%は養鶏向けである。今後、需要の増加が見込まれるところから、現在2,700カ所の工場を更に増設する計画である。

## ② 粗飼料

### イ. 生産量

とうもろこしの茎等の他、次のように粗飼料が約4,700万トン（煙台地区：300万トン）生産されている。

牧草地	：	27万ha
内水面（水生植物）	：	13
草原	：	100

### ロ. 主要飼料作物の種類と特徴

#### ア. 紫花首蓆

通称は紫首蓆であり、世界中で最も広く分布している多年生豆科牧草である。温暖半乾燥気候を好み、寒さにも強い。中性ないし弱アルカリ性土壌に良く育つ。栄養成分としては豊富な蛋白質以外には、Ca、K、及びビタミン類を比較的多く含んでいる。

#### イ. 燕 麦

一年生の禾本科牧草で、寒冷湿陰の気候を好む。種子は蛋白質、ビタミンBを含み、嗜好性も高い。又、消化の良い蛋白質、ビタミンを多く含む干草も良質な飼料である。

#### ウ. 老芒麦

多年生の禾本科牧草で、寒さ、乾燥に強い。

#### エ. 無芒雀麦

多年生の禾本科牧草で、寒冷、乾燥の厳しい条件にも耐える。

#### オ. 冰 草

多年生の禾本科牧草で、寒冷、乾燥の厳しい条件にも耐える。

#### カ. 披碱草

多年生の禾本科牧草で、寒冷に強い。



#### キ. スーダン草

一年生の禾本科牧草で、温暖湿潤の気候にも適しているが、乾燥にも比較的強い。

ク. これらの他、紅豆草、小冠花、アルファルファ、黒麦草、とうもろこし、こうりゃん等がある。

#### ハ. 粗飼料の問題点

粗飼料については、青刈で給与する分には問題ないが、調整、保存の場合には、その方法、技術が必ずしも良くないため、変質、腐敗したり、品質が一定しないことが多く、給与上、飼料設計上問題である。

### (8) 牛肉の流通

#### 1) 流通の現状

現在、中国で流通している牛肉については、大部分が中国国産牛肉で、外国人が利用するホテル、レストラン等向けに輸入されるニュージーランド等産の輸入牛肉はごく一部を占める。

牛肉の品質は、中国国産牛肉の大部分が、食肉専用として飼養肥育されたものでなく、役牛として供使し得なくなった老廃牛あるいは事故牛のものであるところから、かたく、風味の乏しいものとなっている。加えて肉用牛としての品種改良、飼育管理技術の遅れ等も、肉質不良の主要原因の1つとなっている。

枝肉の保管、貯蔵の面からみると、産地から消費地への輸送が必ずしも効率的でないこと、小売段階での売れ行きが豚肉等に比べ遅いため、枝肉の保管期間が長くならざるを得ないこと等から、品質管理を図る上で、冷蔵、冷凍設備の整備が不可欠な状態となっている。

また、市場には枝肉で供給され、小売りの際に切り売りされる。その価格は、どの部位でも同じである。

このような流通の未整備状態は、これまで豚肉の需要に比べ牛肉の加工需要者、消費者からの需要、要請が少なかったことの裏がえしでもあり、今後の牛肉の需要が増加し、消費者の品質への関心の高まりに対応した肉用牛の品種改良、飼育管理技術の改善、枝肉品質基準の設定、保管・貯蔵施設の整備等が不可欠なものとならう。

#### 2) 流通機構

中国国内で流通している物資は、政府の関与の度合いにより、次のとおり分類される。

一類物資 : 政府専管である米、麦、いも、油料種子等

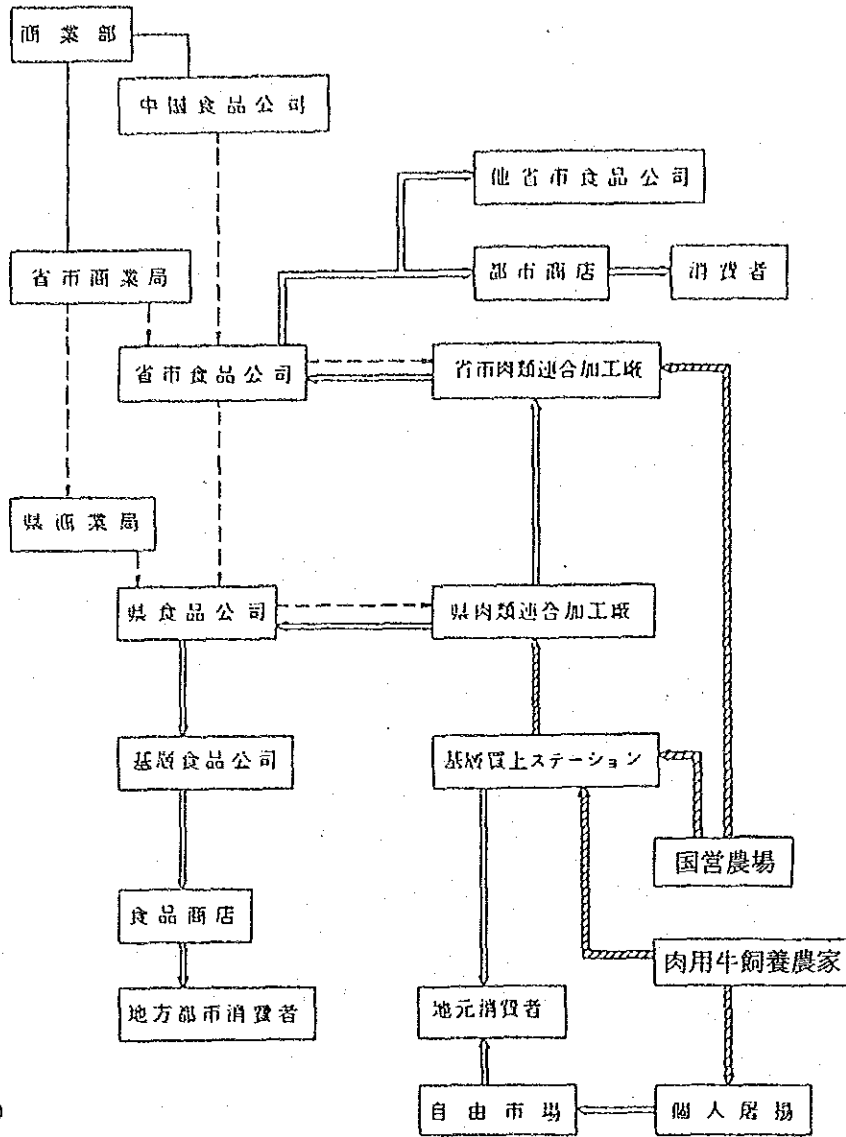
二類物資 : 政府管理と自主流通のもの

三類物資 : 政府が全く関与しない完全自主流通

肉類、卵類は二類物であるが、肉類のうち牛肉、豚肉は政府の関与割合が高く、めん山羊肉、家きん肉はその割合が低い。

牛肉等肉類は、政府機関として商業部により買上げと流通が統一的に管理されている。全体の需給調整は、商業部と省、市又は県の商業局及び中国食品会社と各段階の食品会社が協議して実

図-3 中国の流通機構（牛肉の例）



(注)

- > 生牛の流れ
- > 肉(生鮮加工品)の流れ
- - -> 計画の指示

施している。

流通に直接関与する政府機関は、商業部の内部機構である中国食品公司与省、市等の食品公司及びその下部組織である肉類連合加工廠（省、市及び県段階）並びに各地にある基層買上げステーションである。

出荷された肉牛は、食品会社の支持に基づいて、と畜場で処理、解体され、大部分は枝肉の形で国営の市場へ配送され、消費者に販売される。枝肉から部分肉への加工は、各市場で行われる。これらの他、個人と畜場を経由して、自由市場へ流れるルートもある。

#### (9) 人工授精

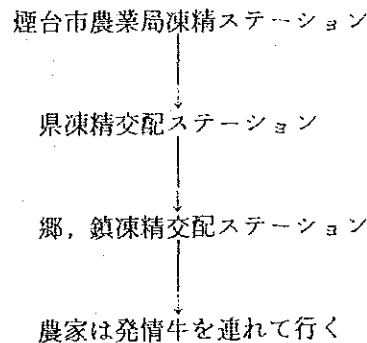
中国では食肉の増産対策の大きな柱として家畜の改良増殖を位置づけ、その推進策としての人工授精は歴史的には1950年代の初期に馬、牛、綿羊、豚等で研究と応用が始められたものである。その後、技術の改良、導入、組織の整備等が図られ、現在ではそれなりの成績をおさめている。煙台市農業局に所属する凍精ステーションの概要は次の通り。

##### 1) 歴史

中国は北京総合種牛センターを核として人工授精技術の改良、普及等に努めているが、現在応用されている技術はフランスから導入されたものである。この技術をもとに煙台市農業局凍精ステーションは、1980年に設立発足した。

##### 2) 機構

人工授精のネットワークは、煙台市農業局凍精ステーションを中心として、その下に県凍精交配ステーション、更に人工授精を実地に行う郷、鎮凍精交配ステーションからなる。



凍精ステーションは、発育、精液精状等をもとに検定した種雄牛8頭（魯西黄牛、シンメンタル牛それぞれ4頭）を管理し、それぞれから年間1万粒、合計8万粒のペレットを製造している。また、器機としては杭州酸素製造機械工場製の液体窒素製造機械2台を有し、液体窒素を製造している。これらのペレット及び液体窒素は、県凍精交配ステーションを通じて、煙台地区の210郷、鎮凍精交配ステーションに供給される。

郷、鎮凍精交配ステーションでは、農家の人が連れて来た発情牛に人工授精を行うこととなっている。このような凍精交配ステーションの恩恵を受けられない地域には、検定済の種雄牛を配

置し、自然交配を行うこととしている。

なお、凍精交配ステーションの人工授精師は、資格認定が必要であり、通常、大学あるいは専門学校を卒業した者、あるいは高等学校を卒業し、人工授精の研修を受けた者となっている。

## (10)家畜衛生

### 1) 行政機構

中央組織としては、農牧漁業部畜牧局が畜産及び家畜衛生関係の業務の統轄調整を行っている。畜牧局は家畜衛生関係の業務を行う獣医処の他、畜牧生産処、種畜管理品種改良処、草原建設処等がある。

省、自治区、特別市にはそれぞれ農業庁か畜牧庁（畜産の盛んな場合、山東省は農業庁）があり、獣医畜産関係の地方行政を所掌している。

更に、地区と県には農業局か畜牧局があり、畜牧科が設けられている。

一方、実際の衛生業務を担当する機関として、省、自治区、特別市のレベルでは、畜牧獣医総ステーションがあり、防疫、診断を担当し、血清反応検査、細菌培養検査、蛍光抗体法による検査程度の機能を有するが、ところによっては、省の獣医研究所に持ち込んで、検査を実施するところもある。地区や県の段階では、地区や県の畜牧獣医ステーションがあり、臨床検査（病院）、獣医診断室、防疫指導等の部門があり、小規模の検査室や実験室を有し、ブルセラ病等の血清診断を行っているという。郷鎮の畜牧獣医ステーションには獣医師が配置され、主として臨床業務や予防注射等を担当するという。また、この他、短期の専門訓練を受けた防疫員がおり、末端の家畜衛生業務を担当する。

### 2) 試験研究機関の機構

中央組織としては、農牧漁業部農業科学院のもとに農業、畜牧、獣医関係の研究機関が所属しており、獣医研究所、畜牧研究所が含まれる。

一方、省、自治区にも獣医（畜牧）研究所が設置されており、国及び省の要望に応じた試験、研究を行っている。これらに加えて、山東省には鶏の増殖を主たる目的とした家禽研究所がある。

これらの他、山東農業大学、萊陽農学院等教育施設にも獣医学科、畜牧学科があり、一部研究を行っている。

### 3) 動物用医薬品の供給

動物用医薬品のうち生物学的製剤については、農牧漁業部直轄の製造所4カ所、その他省、自治区に属する製造所で製造されており、一方、その他医薬品については、省に属する製造所で製造されている。

これら医薬品については、品質の均一化を図るため、特に生物学的製剤の製造を特定の製造所に限り、更に農牧漁業部直轄の獣医薬品監察所（「中検所」とも呼ばれる、生物学的製剤の検定）、省に属する薬品検査所で検定を行っている。

医薬品の流通については、乱用を防止し、的確な指導のもと防疫を円滑にすすめる必要のある

生物学的製剤等は畜牧獣医ステーションを、その他薬品は会社を通じて行われている。

#### 4) 家畜衛生業務の概要

以上の組織は、国の体制のもとで中央から末端までよく機能しているようにみられ、技術的な遅れをカバーして、その浸透力、徹底度はきわめて高く、伝染性疾病の防圧等に威力を発揮している。例えば、伝染性疾病の発生通報の励行状況、各種予防接種の実施率等も良好で、まさに人民大衆の力による防疫、衛生改善ということができよう。

家畜伝染病の発生状況については、中国全土で各疾病とも極めて少なく好成績のようであり、加えて、山東省は日本向け生体牛の家畜衛生条件に盛り込まれた13疾病（口蹄疫、牛肺疫、ブルータング、ブルセラ病、結核病、ヨーネ病、牛伝染性鼻気管炎、粘膜病、レプトスピラ病、アナプラズマ病、ピロプラズマ病、トリパノゾーマ病、牛白血病）の無病条件を満たす等防疫を円滑に進めているが、繁殖雌牛の受胎率が80%程度であるというのにもかかわらず、育成率が異常に低いことについては、単に管理不行届にとどまらず衛生管理上の問題があることを示唆しているようであり、疾病の発生状況、概要説明等を額面どおりに受け取ることには疑問が残る。

表-24 家畜伝染病の発生状況

単位：地域数、件数（中国全土）

年月 病名	1984 5	6	7	8	9	10	11	12	1985 1	2
牛 疫					N A	N A				
牛肺疫							2, 2	2, 3	1, 1	
炭 疽		3, 5	4, 5	5, 6						
口蹄疫										
狂犬病	4, 5							1, 1	1, 2	3, 4
鼻 疽	1, 1			2, 2			1, 1	1, 2	1, 1	2, 5
豚コレラ	3, 3	1, 1	1, 1							2, 2
豚丹毒	2, 2	3, 4	3, 5	3, 3						
羊 痘							3, 4	3, 3	2, 2	2, 2
ニューカッスル 病	2, 2			4, 5				1, 1		1, 1

出所：農牧漁業部，畜牧局

注：上記発生状況において山東省の該当がない。

#### (11) 試験的事業の可能性

中国の牛肉事情を総括すると、改善を必要とする現状については、中国の長い歴史の中で、牛肉の需要が育まれなかったことから、その結果としてそれを供給するための技術の改良、蓄積の必要がなかったためであるということにつきる。従って、中国の肉用牛経営の振興を図るためには、次のようなことを配慮する必要がある。

基本的には、肉用牛経営の振興を含む農業開発が過去には生産基盤等を無視した形で西欧の先端技術の導入を中心としてすすめられる傾向が強かったが、的確な振興のためには、生産物としての牛肉の供給予定先、供給予定先における牛肉の需給動向、需給動向に適した生産技術、生産技術の受け入れ側たる農民の対応能力等を総合的に分析した上で、基本的、現実的な対応が不可欠と考える。具体的にはまず中国の畜産事情、牛肉の需給動向等に適した肥育の条件を明らかにするための同一条件下での発育、肥育の比較試験を行い、肥育に適した肉用牛の品種の選定を行うことが必要である。

肥育開始月令を見きわめたいとの意見もあるが、肥育は初生の段階に始まっていると言っても過言ではなく、次に肥育を効率的に進めることが今後の肉用牛飼育事業を行う上で不可欠であるがこの肥育開始月令を見極めるほか優良肥育素牛の供給が肥育事業の前提であるところから、優良産子を得ること、繁殖成績向上等を目的とした繁殖雌牛の適正管理はもちろんのこと、体重増加が最も著しい生後10数カ月までの初期段階に母乳の給与、離乳の実施、離乳後の飼料設計等飼育、肥育管理技術の総合的な改善を図ることが必要である。

この肥育の仕上がり度合いは一様でなく、確実なところ、肥育終了牛を殺し、その枝肉を見なければわからないというところが難点であり、例えば、技術の未熟な肥育例では、肥育終了牛が外見上満肉であっても、文字どおり一皮むくと、皮下脂肪の塊りであったということも多々あることから、総合的な肥育技術の確立に加えて、安定化を図ることにより、特定肉質の再現性を高めることも今後重要な課題となろう。

開発事業の今後の推進に当たっては現在、香港等へ輸出されている肉用牛について、肥育技術を改善し、付加価値を高める一方、それを基盤として新ブランドの開発を行っていくことが基本的に重要なことと考えられる。

なお、中国は口蹄疫汚染国であるため、我が国等清浄国への牛肉輸出は出来ないが、当面は、今後増大が期待される中国国内における牛肉需要に対応して、屠殺から部分肉処理、更に冷蔵、冷凍等の保管設備、流通の整備を行っておくことが、将来の国際化への一歩となろう。

現在においても農家における牛飼育が役畜目的から完全に脱却し肉牛専用飼育の時期に入っていない状況の中で肉牛生産事業を実施するに当たっては以下の問題点に関し技術的試験段階を経る必要がある。

- ・肉用牛の発育、肥育試験にもとづく優良品種の選定
- ・繁殖用牛の適正飼育管理技術の開発
- ・発生段階における飼料設計の確立
- ・肥育牛の肉質検査
- ・飼料作物の導入及び選抜試験

#### (12) 開発協力効果

山東省においては、多くの牧畜関係生産基地の建設が計画されている。肉牛生産基地は、その中でも高い優先度を与えられており、省政府の期待も大きい。特に、肉牛生産基地は、現在のと

ころ国内需要向けよりも輸出による外貨獲得を主要的な目的とするものと考えられており、中央政府の輸出型産業を育成しようとする方針に沿ったものとなっている。また、今後、生活水準の向上・食生活の改善等に伴い、肉牛に対する国内需要の増加も考えられ、こうした点からこの面での合弁事業実施による協力効果も大きいものと考えられる。

中国においては、畜産物に関して、従来豚肉を中心とした食生活が長く続き、牛肉の消費は微々たるものに過ぎなかった。従って、これまで長く牛については、役畜を目的とした飼育のみが行われ、肉牛生産のための飼育は行われていなかった。現在でも肉牛生産技術の畜積がほとんどないのが実情である。

このため、肉牛生産に関する試験的事業の実施により、必要な肉牛生産技術が開発されれば、周辺生産基地に与える影響も大きくその効果は大きいものと考えられる。技術的には特に優良品種の選定、適正飼育管理技術の開発等が必要とされよう。

本件事業の実施にあたっては生産された肉牛の輸出先の確保が一つの大きな問題となるが、現在既に香港・ソ連等への輸出実績があることから、当面、これら地域への輸出の増加を目標として事業を進めていくことが適当と思われる。

## 5. 河南省養蜂事業

本件については当初対象案件として予定されていなかったものであるが、JICA中国事務所を通じて是非とも面談したいとの強い要望があったため調査団の一部団員が面談することとした。中国側の要望は対日輸出に耐え得る蜂蜜の生産及び副産品開発を望んでいるものである。

### (1) 中国側の本計画に対する考え方

- ① 輸出に耐える蜂蜜の質的向上と、ローヤルゼリー等副産品の生産向上を目的とする。
- ② 問題点 上記の目的を達成するための中国側の認識する現状の問題点は次の通りである。

#### 1) 蜜 蜂

- イ. 74, 75年に外国よりイタリアン、コーカンアン品種を輸入したが雄蜂が多く問題があった。
- ロ. 80年代に同じく輸入したが、当時無料で養蜂家へ配布したが、飼養技術が伴わなかった。
- ハ. 大半の品種は中華蜂であるためヨーロッパ種と比べ採蜜力が低い。

表-25

	耐病性	採蜜力
中華蜂	強い	低い
ヨーロッパ種	弱い	高い

#### 2) 蜜源植物

中国の広大な土地に蜜源植物は豊富であるが、分布は散在しており開花期を長くし、採蜜期を長くしたい。

- ① 蜜源植物の中心的存在であるレンゲは河南省では開花期間（10日）と後作物との関係で椽肥として消費され採蜜期間が短い。
- ② レンゲの他には優れた蜜源植物が少ない。

#### 3) 養蜂技術

- ① 中国の養蜂の技術は長いですが、立ち遅れている。  

飼育群	先進国	100~500	中国	20~30
継箱	"	7段	中国	使用しない
- ② 管理技術が遅れている。
- ③ 養蜂家の組織がなく新たな技術の普及に時間を要す。

#### 4) その他

副産品の生産技術がない。

- ① ローヤルゼリー、ビーワックス、花粉、蜂の子の生産技術の試験、研究
- ② 保存技術（用途、用法の研究）

### (2) 試験的事業の可能性

上記の問題解決をはかるため中国側から次の事業計画が示された。



(1) 蜂の品種改良（外国から優良蜜蜂を導入し、交配の上適応化試験を行い、改良蜜蜂の普及をはかりたい。）

(2) 導入蜂の適応試験

(3) 蜜源植物の新品種の導入及選抜

（河南省の信陽地区は中国の南北の中間位置にあり、レンゲの中心産地であるので、海外から早生レンゲを導入し開花期を早めたい。その他の植物としてクローバーを導入し、年間を通して良質の採蜜を可能にし、また、転地養蜂から定地養蜂にする。）

(4) 養蜂（飼育・管理）技術の改良

(5) 蜂蜜副産品の開発

これらのうち一部の事項については試験的事業としての可能性の認められるものを含んでいるが、全てを試験的事業とすることには難がある。従って中国側の意向を受けた本邦企業の事業化の計画内容にもよるが、試験的事業としてのJICA資金の活用のみにとどまらず、OECSF資金活用の試験事業との組合せ事業としての検討の余地はあるものと思われる。

#### IV そ の 他

##### 1. 面談者リスト

###### 農牧漁業部関係者

相 重 易	農牧漁業部副部長
邢 竹 芳	農牧漁業部外事司 副司長
林 干	国务院副産品出口体系弁公室 主任
何 家 栋	農牧漁業部畜牧局 副局長
李 大 成	農牧漁業部外事司業務処 処長
張 开 平	農牧漁業部外経弁公室 主任
張 如 玉	農牧漁業部外事司業務処 工程師
甘 坐 富	農牧漁業部外事司業務処 項目官員
初 庆 玲	農牧漁業部外事司業務処 項目官員

###### 日本大使館担当官

速 見 統 一	在中華人民共和国日本大使館 参贊
大久保 寿夫	在中華人民共和国日本大使館 一等書記官

###### JICA中華人民共和国事務所

八 島 継 男	所長
木 村 信 雄	事務所員
張 义 英	事務所員

###### 糧油食品進出口總公司関係者

孙 振 宇	糧油食品進出口總公司 副總經理
刘 峻	糧油食品進出口總公司 肉食部经理
薰 肃 容	糧油食品進出口總公司 果菜部经理
马 道 骏	糧油食品進出口總公司 果菜部活牛担当者
王 绍 华	糧油食品進出口總公司 經理弁公室

李 大 山 糧油食品進出口總公司 油脂部

對外經濟貿易部關係者

牟 永 懋 對外經濟貿易部 二局局長  
張 上 塘 對外經濟貿易部 外資局付處長  
郭 栖 柳 對外經濟貿易部 外資局  
宗 耀 明 對外經濟貿易部 二局

土產畜產進出口總公司關係者

馮 廣 順 土產畜產進出口總公司 副總經理  
周 彤 土產畜產進出口總公司 副處長  
楊 雪 珍 土產畜產進出口總公司  
呂 和 土產畜產進出口總公司 河南省土產分公司

山東省濟南市關係者

俞 寬 鐘 山東省農業庁 副庁長  
周 克 英 山東省農業庁 畜牧局科長  
崔 學 廉 山東省農業庁 外事處處長  
苗 華 忱 山東省農業庁 外事處外科長 工程師  
張 家 紹 山東省對外經濟貿易委員會 處長  
馬 明 發 山東省牧工商連合企業公司 經理  
王 桂 月 山東省農業庁牧獸醫工作站 站長

山東省煙台市關係者

李 文 全 中國共產黨煙台市委員會 副書記  
任 洪 欽 煙台市農業局 局長  
田 金 榜 煙台市農業局 助理畜牧師  
列 華 敏 煙台市農業局 助理工程師  
曲 連 綿 煙台農牧工商連合企業公司 經理

刘 玉 永 煙台食品進出口支公司 副經理  
于 炳 琰 山東省食品分公司 副經理

黑龍江省人民政府關係者

王 连 铮 黑龍江省人民政府 副省長  
刘 彦 东 黑龍江省農牧漁業厅外事外經处 処長  
杨 德 祥 黑龍江省農牧漁業厅 副厅長  
王 培 禹 黑龍江省食品工業办公室 主任  
胡 国 宥 黑龍江省商業厅科技工業处 処長  
王 红 伟 黑龍江省計画經濟委员会对外經濟貿易处 科長  
林 鸿 甲 黑龍江省哈爾濱冷凍庫大型肉類加工企業 副科長  
薰 秀 文 黑龍江省哈爾濱蔬菜科学研究所 副所長  
张 兴 久 黑龍江省多角經營处 副処長  
高 国 良 黑龍江省農牧漁業厅生產处 副処長  
李 征 波 黑龍江省農牧漁業厅外事外經处

哈爾濱市平房地区菜站庫關係者

孙 吉 庆 平房菜站庫 主任  
李 维 民 平房菜站庫 副經理  
程 国 太 平房菜站庫 主任  
冯 义 平房菜站庫 書記

哈爾濱市蔬菜科学研究所關係者

杨 志 维 研究所 副所長  
薰 秀 文 研究所 副所長 農芸師

哈爾濱市冷凍工場關係者

余 伯 忠 哈爾濱冷凍庫大型肉類加工企業 副庫長  
王 孝 荣 哈爾濱冷凍庫 庫長

大慶市人民政府關係者

王 汉 民	大慶市 副市長
陆 军	大慶市对外經濟貿易局 局長
张 庆 成	大慶市計画委員会 主任
王 文 栓	大慶市農牧漁業局 副局長
张 宗 良	大慶市外事弁公室大慶石油管理局外事処
韩 恽 银	大慶市食品学会 副秘書長 黑龍江省大慶市蔬菜公司 經理

天津市人民政府關係者

张 国 村	天津市農村工作委員会 副主任
陈 钟 槐	天津市農林局 局長
刘 学 祥	天津市人民政府 処長
孙 希 英	天津市農村工作委員会 処長
唐 家 亨	天津市对外經濟委員会天津市人民政府外事弁公室 副処長
颜 景 鎬	天津市國際投資公司 副經理
王 恒 周	天津市地質鉅産局外事經營管理処 副処長
卞 瑄 新	天津市農林局弁公室 主任
谭 学 文	天津市農林局經濟貿易処 副処長
陈 亚 靖	天津市農林局經濟貿易処
吕 季 虹	天津市農村工作委員会对外經濟処
胡 胜 才	天津市对外經濟貿易委員会天津市人民政府外事弁公室

天津国营里自沽農場關係者

张 乃 良	農場長
郝 老 伦	副場長

天津市農業科学院關係者

侯 锋	副院長 副研究員
-----	----------

## 2. 参考資料一欄

(資料名)

第7次5ヵ年計画抄(別添1)

北京周報(國務院の外国投資奨励に関する規定) 10.28(別添2)

REGULATIONS ON THE PREFERENTIAL TREATMENT TO OUTSIDE TRADERS INVESTING IN SETTING UP ENTERPRISES IN HEILONGJIANG PROVINCE(別添3)

AN OUTLINE OF SHANDONG'S ECONOMY(別添4)

外国の商社が山東省に投資することを奨励する優遇施策を語る

新聞発表会におけるあいさつ(及び訳)(別添5)

山東省基準 魯西黄牛(訳)(別添6)

中国糧油食品進出口總公司商品目錄 1986

中国糧油食品進出口總公司 1952 ~ 86

中国農業統計資料

黑龍江省人民政府關於对外商投資與辦

黑龍江省農業科学院園芸研究所簡介

黑龍江省城市蔬菜購銷狀況綜合統計表

煙台投資指南

煙台市对外經濟技術合作項目簡介

煙台經濟技術開發區簡介

中国良種黄牛

山東省概況

天津市里自沽農場基本情況

## 參考資料





## 中華人民共和国 第7次5ヶ年計画（農林水産分野）

### 第7章 農 業

#### 1. 基本方針・目標

第7次5ヶ年計画の期間（1986～1990）においても引続き国民経済の基礎としての農村経済の全般的発展を促進させる。

#### 2. 農村産業構造

1990年迄に農村産業構造を以下のとおり改善する。即ち農業生産高（村落単位以下の工業を含まず）において耕種栽培の占める割合を1985年の66%から62%に下げ、林業、牧畜業、水産業および副業の割合を34%から38%に引上げる。また、農村社会総生産高における農林水産業生産の割合を1985年における57.7%から51%に引下げ、工業、建築業、運輸業、商業及びサービス業の割合を1985年の42.3%から59%に引上げる。

##### イ. 耕種栽培

食料生産については積極的に多角経営を推進させる方針を継続実施するものとし、主要農産物の生産目標を以下に置く。

食糧： 年平均の生産量を41,500万トン確保し（1990年の目標を42,500～45,000万トン）第6次5ヶ年計画目標生産量の12%増を目標とする。

綿花： 第6次5ヶ年計画目標より少々減産することとし年平均425万トンの生産（1990年目標においても425万トン）を維持する。

油料作物： 年平均1,712万トン（1990年の目標1,825万トン）とし第6次5ヶ年計画目標に対し42%増の生産を達成する。

糖料作物： 年平均6,385万トンの生産を確保し（1990年目標生産を6,875万トンの生産を確保し（1990年目標生産を6,875万トン）第6次5ヶ年計画に対し40%増の生産を達成する。

食糧生産計画の実現を確保するため、栽培面積を安定させるとともに単位面積当たりの収量を増大させなければならない。工業作物の生産は市場の需給状況を勘案しつつ計画的に生産調整を行う。都市近郊では十分な野菜栽培面積を確保し、近郊を主、地方を補助とし、外地からの調達を含めた野菜生産布局を逐次組織する。部分的に飼料、緑肥作物の栽培面積を計画的に増加させる。

##### ロ. 林 業

林業を基礎とした方針を引続き実施するものとする。5年以内に造林面積を2,770万haとし

1990年迄に国土面積の12%から14%に高めるよう努力する。荒山、荒地の造林および森林保護を強化し、西北地区、華北地区、東北地区に防護林を建設し長江上中流水源涵養林及び治水・土壌保全林を積極的に造成する。また、平原河網地区の緑化を促進し村辺、水辺、道路辺、住宅周囲等の植林を提唱する等林業行政による管理強化をはかる。

#### ハ、牧畜業

1990年における主要畜産品生産量の目標を以下のとおりとする。

肉類総生産量	2,275万トン	1985年比19.7%増
牛乳生産量	625万トン	" 110%増
卵類生産量	875万トン	" 65%増

牧畜業の発展には農業地帯においても牧畜地帯同様重視し畜産、家禽の飼育数量を安定的に発展させることを基本とし、品種改良を加え商品量の増と品質改良をはかる。大中都市外には種畜、飼料、飼育、加工及び技術サービス等一貫した生産吉を逐次建設する。牧草地の造成を強化するとともに南方草山の牧畜への利活用にも力を入れる。

#### ニ、水産業

養殖を主とし養殖、漁撈、加工等地域に即応した重点方式にもとづく生産拡大の努力を引続き実施する。1990年における水産品の総生産量を900万トンを目標としこれは1985年の29%増にあたる。

#### ホ、卿鎮（町村）企業

1990年における卿鎮企業の生産高を1985年に対し倍増である4,600億元達成を目指す。卿鎮企業の発展にはこれを積極的に支持し、規制の合理化、正しい指導、管理強化をはかる。各地における卿鎮企業の発展には主として自己資金による企業能力に見合う規模をもとに着実な発展家庭を歩むよう留意し盲目性を排除するとともに環境汚染防止にも留意せしめる。

### 3. 水利建設及び気象事業

(省 略)

### 4. 主な政策措置

各種の生産諸責任制を更に整備発展せしめ、農民の自由意思と相互利益の原則にのっとりたさまざまの形態の共同経営と連合経営を発展せしめる。農業計画体制及び農産品統一購入制度を更に改革する。土壌改良、優良品種の普及、農業技術改善、県営管理改善を積極的に行う。化学肥料、農薬、農業用ビニール、農業機械の供給及び農業用電気量の増、農業機械化のレベルアップ推進する。国による対農業投資をしかるべく増額し、農業にかかる基礎施設の建設を強め同時に農業基盤の強化、拡大をはかる。

## 国务院の外国投資奨励に関する規定

一九八六年十月十一日

第一条 投資環境を改善し、外資し、製品の品質を高め、輸出による  
をよりよく吸収し、先進技術を導入 外貨獲得を増やし、国民経済を発展  
させるため、特にこの規定を定め

第二条 国は、外国の会社、企業  
その他の経済組織または個人（以

1986. 10. 28.

下、外国投資家と略称)が、中国国内で中外合資経営企業、中外合作経営企業および外資企業(以下、外資系企業と略称)を設立することを奨励する。

国は次の各号にかかげる外資系企業に対し特別な優遇を与える。

一、製品を主に輸出にあて、年度外貨総収入額から生産・経営のための年度外貨支出額および外国投資家の所得利益の国外送金に必要な外貨額を差し引いて、外貨に余剰がある生産型企業(以下、製品輸出企業と略称)。

二、外国投資家が先進技術を提供して、輸出による外貨獲得を増やし、または輸入を代替するために新製品開発に従事し、製品の等級引き上げ、世代交代を実現している生産型企業(以下、先進技術企業と略称)。

第三条 製品輸出企業および先進技術企業については、国の規定に従って中国側従業員に労働保険、福祉費用および住宅補助基金を支払い、または積み立てる以外は、従業員への各種補助金を国に納付することを免除する。

第四条 製品輸出企業および先進技術企業の土地使用料は、大都市市区の繁華街を除き、次の各号にかかげる基準によって計算・徴収する。

一、開発費および使用料を総合し、または前記企業が自ら用地を開発する地区では、使用料を最高一平方メートルあたり年間五元ないし二十元とする。

二、開発費を一回で計算・徴収し、または前記企業が自ら用地を開発する地区では、使用料を最高一平方メートルあたり年間三元とする。

前項に定める料金については、地方人民政府が情状を斟酌して一定期間、徴収を免除することができる。

第五条 製品輸出企業および先進技術企業に対しては、生産・経営に必要な水・電気、輸送条件および通信施設を優先的に提供し、現地の国営企業の料金基準によって料金を計算・徴収する。

第六条 製品輸出企業および先進技術企業が生産および流通の過程で借り入れを必要とする短期回転資金、その他不可欠な融資については、中国銀行の審査を受けたあと、優先的に貸し付ける。

第七条 製品輸出企業および先進技術企業の外国投資家が企業から分配された利益を国外へ送金するときには、送金額の所得税を免除する。

第八条 製品輸出企業は、国の規定による企業所得税減免期間が満了後、該年度の企業の輸出製品生産額が同年の企業の製品生産の七〇%以上に達した場合には、現行税率の半分の税率で企業所得税を納付することができる。

経済特別区および経済技術開発区(以下、特別区)の製品輸出企業およびその税率により企業所得税を上納したその他の製品輸出企業で、前項の条件に合うものは、一〇%の税率で企業所得税を納付する。

第九条 先進技術企業は、国の規定による企業所得税減免期間が満了後、企業所得税の半額納付を三年間延長することができる。

第十条 外国投資家が、企業から分配された利益を中国国内に再投資し、製品輸出企業または先進技術企業を設立もしくは拡張し、経営期間が五年を下回らない場合には、税務機関に申請して認可を受けたあと、再投資部分の上納済みの企業所得税は全額還付する。経営期間が五年未満でその投資を引きあげたときには、還付した企業所得税を追徴するものとする。

第十一条 外資系企業の輸出品については、原油、精製油および国が別に定めた製品を除き、工商統一税を免除する。

第十二条 外資系企業は、自らその製品輸出を行ってもよいし、また国の規定に従って輸出を代理者に委託してもよい。輸出許可証の申請を必要とする製品に属するものは、企業の年度輸出計画に従って、半年ごとに許可証を申請する。

第十三条 外資系企業が、その製品輸出契約を履行するために輸入を必要とする機械設備、生産用の車両、原材料、燃料、KD部品、予備品、素子、付属品については(国が輸入を制限しているものも含む)、審査・承認を受ける必要がなく、輸入許可証の受領を免除し、税関がこれを監督、管理し、企業の契約または輸出入契約をもとに検査し、通関を許可する。

前項に記した輸入原材料、部品などは、当該企業の自用に限るものとし、国内市場で販売してはならない。国内販売製品に用いる場合には、規定に基づいて輸入手続をとり、かつ規定に従って納税するものとする。

第十四条 外資系企業は、外国為替管理部門の監督の下に、外貨の過不足を相互に調整し合うことができる。

第十五条 各級人民政府および関係主管部門は、外資系企業の自主権を保護し、外資系企業が世界の先進的な科学方法で企業を管理することを支持しなければならない。

外資系企業は、認可された契約の範囲内で自ら生産・経営計画を定め、資金を調達・運用し、生産手段

品輸出契約を履行するために輸入を必要とする機械設備、生産用の車両、原材料、燃料、KD部品、予備品、素子、付属品については(国が輸入を制限しているものも含む)、審査・承認を受ける必要がなく、輸入許可証の受領を免除し、税関がこれを監督、管理し、企業の契約または輸出入契約をもとに検査し、通関を許可する。

を購入し、製品を販売する権限を有し、自ら賃金基準、賃金形態および報奨・手当制度を決める権限を有する。

外資系企業は、生産・経営の必要に基づき、自らその機構の設立および定員を決め、高級経営管理者を採用または解雇し、従業員を増員または解雇することができる。また地元で技術者、管理者および労働者を招へい、募集することができ、被採用者の所属単位はこれに支持を与え、移動を認めるものとする。規則・制度に違反して一定の悪い結果を招いた従業員については、情状によって免職を含む各種の処分をすることができ、外資系企業が従業員を招へい、募集、解雇または免職する場合

は、地元の労働人事部門に報告しなければならぬ。

第十六条 各地区、各部門は企業にみだりに賦課金を科すことを断固制止することに関する國務院の通達を履行し、省級人民政府が具体的方法を定め、監督、管理を強化しなければならぬ。

外資系企業は、不当な費用徴収に對しては、その納付を拒否することができる。また地元の経済委員会さらには國家經濟委員会に訴願することができる。

第十七条 各級人民政府と關係主管部門は、業務の協調をはかり、事務能率を高め、外資系企業が申し出た、回答および解決の必要のある事項について審査、認可しなければならぬ。

ならない。國務院主管部門が審査し、認可する外資系企業の取り決め、契約、定款については、審査・認可機關は全部の書類を受け取った日から三ヵ月以内に認可または不認可を決定しなければならぬ。

第十八条 この規定でいう製品輸出企業および先進技術企業については、その企業の所在地の對外經濟貿易部門が關係部門と合同で、企業契約に基づいて確認した上、証明を發給する。製品輸出企業の年度輸出実績が、企業の契約に定める外貨均衡・余剰の目標を達成できない場合には、前年度に減免された税金・料金を次年度に納付しなければならぬ。

第十九条 この規定の各条項は、製品輸出企業または先進技術企業への適用を明確に定めた条項を除き、すべての外資系企業に適用する。

この規定の施行日以前に設立認可を受けた外資系企業で、この規定の優遇条件に適合するものには、施行日からこの規定を適用する。

第二十条 香港・澳門（マカオ）、台湾の公司、企業その他の經濟組織または個人が投資して設立した企業については、この規定を参照して執行する。

第二十一条 この規定の解釈は、對外經濟貿易部が責任を負う。

第二十二条 この規定は、公布の日から施行する。

REGULATIONS ON  
THE PREFERENTIAL TREATMENT TO  
OUTSIDE TRADERS INVESTING IN  
SETTING UP ENTERPRISES IN  
HEILONGJIANG PROVINCE

January 8, 1985

In order to utilize more foreign fund and up-to-date technology for the speeding up of economic construction in Heilongjiang we have decided to give the following preferential treatment to our compatriots from Hong Kong, Macao and Taiwan Province, overseas Chinese as well as foreign traders in taxation, market, price and the administration of foreign exchange, import and export etc.

1. To protect foreign investors' legitimate rights

Those Sino-foreign joint ventures, co-operation projects and enterprises with exclusive foreign investment, once approved and registered, will be considered as an economic entity with the status of a legal person, independent in the running. Before the law of China, each party in co-operation is protected and governed by the law.

2. There are "eight first-priorities" to enterprises and co-operation business run jointly by Sino-foreign investors,

Resources and materials needed for running the business will be supplied in first-priority. Coal, electricity, gas, oil, water etc will be supplied first; the transportation, whether by water, land or air will be arranged first; facilities of port and telecommunication will be installed and served first; raw material and other prerequisites will be allocated and supplied; construction site and capital construction force will be arranged first; loans will be provided with by the bank first; labour force will be advertised

first As for enterprises with sole foreign investment, they will also be supported and co-operated according to the above mentioned principle.

### 3. Immunity and reduction of income tax

For enterprises with an operation term longer than 10 years, income tax will be immunized for two years from the year profitable, and in addition, the income tax rate will be reduced to 50% on the following three years.

For those co-operated agricultural and forestry enterprises of less profitable and those located in economically less developed areas, in addition to the immunition of income tax for five years, they will enjoy the reduction of income tax rate by 15-30% in the following ten years. While this kind of enterprises with sole foreign investment and with an operation term longer than 10 years in the first year from the year profitable, the income tax is immunized, and the income tax rate for the second and third year is reduced to 50%. In the following ten years, the income tax may be reduced by 15-30%.

As to the income from the utilization of know-how provided by foreign traders in the field of agriculture, forestry, fishery and animal husbandry, exploitation of energy, transportation, saving of energy, protection of environmental pollution and the development in important areas, the income tax is to be paid at one-tenth of the tax rate. However, for those items of up-to date technology and the conditions are preferential, immunition of income tax will be enjoyed.

To those Sino-foreign joint ventures, co-operation business and enterprises with sole foreign investment, the additional income tax to be imposed by local government can be immunized for certain period of time.

4. United industrial and business tax is to be imposed at lower rate, and immunition or reduction is possible ✓

For Sino-foreign joint ventures, co-operation business and enterprises with sole foreign investment, if the taxation rate of this kind of tax is higher than that for existing Chinese enterprises, it will be lowered to that through reduction of tax, if lower, it will not be changed. All the products for export except those restricted by the state will enjoy the immunition of united industrial and business tax and custom duties.

For the united industrial and business tax of those products sold domestically, it can be reduced or immunized for a certain period after the applications of the enterprises are approved if it is payed with difficulty at the beginning of running the enterprises

5. For Sino-foreign joint ventures co-operation business and enterprises

with sole foreign investment, to the equipments, parts, assemblies and other necessary materials imported with investment (including loans) in accordance with the contract, and those can not be supplied at home so imported with additional investment as well as furniture and household appliances for foreign partners' family (limited in reasonable quantity) no custom duties and united industrial and business tax will be imposed. For buildings and vehicles for own use of the Sino-foreign joint ventures, co-operation business and enterprises with sole foreign investment, the real estate tax and licence tax can be immunized or reduced according to conditions.

6. Reasonable price policy being stipulated

The price for export products of Sino-foreign joint ventures, co-operation business and enterprises with sole foreign investment, is to be decided by the enterprises. While the price for products to be sold on domestic market will be decided according to domestic price level, however the price will be set in accordance with the quality of the product also. All the raw material, fuel, power except gold, silver, platinum, petroleum, coal and timber that are used directly in the production of export products and different fees will be supplied or charged at domestic price or charging rate. Fees for transportation of goods, labour service, engineering design, consultancy service and advertisement are charged at the same charging rate for Chinese enterprises.

7. Special preferential treatment in the charging of fees for construction site utilization (charged in the form of land utilization and site developing fee)

Fees for construction site utilization can either be considered as the investment of Chinese side or to be paid in cash by the co-operated enterprises or enterprises with sole foreign investment, it is flexible in payment. For outside traders come to our province to set up productive enterprise before 1987, land utilization fee is immunized for three years, and the site developing fee is reduced to 70—90%.

8. Charging rate for the land utilization fee will be decided according to different area in our province, different circle of business and term of utilization

In large and medium sized cities it will be 20—50% lower than that in adjacent provinces. While in other cities and counties, it will be 30—50% lower than that for major and medium sized cities. And it is immunized, if the land is to be used for culture and education, scientific research, medical and health or social welfare.



9. Charging rate for construction site developing fee (including fees for land utilization, removal of original constructions and arrangement for the residents and cost for road, the supply of water, power, gas, telecommunication, sewage engineering which serving the enterprise directly, and the levelling of land etc.)

For major and medium sized cities, it will be 10—10% lower than that in adjacent provinces. For other cities and counties, it will be 30—30% lower. If it is paid within two years, no interest will be charged. If it is to be paid by instalment, the last payment should be paid before the termination of the operation term.

10. It is urged and supported to export those products of Sino-foreign joint ventures, co-operation business and enterprises with sole foreign investment to international market, it is also possible to sell partly on domestic market. For those products of high technology and short in supply domestically, the proportion of the product to be sold domestically can be properly increased, and some of them can be mainly sold at home. In such cases, the unbalance in foreign exchange will be compensated in a workable way so as to ensure foreign investors' due income of foreign exchange and its remittance.

11. Special preferential treatment will be given to investors of overseas Chinese and compatriots from Hong Kong, Macao and Taiwan province

It is allowed for the investors to employ their relatives or friends as their representatives or agents. It is also possible to employ their relatives in the business, if they come from rural area, they can settle their home where the business is located.

12. Procedures simplified, convenience provided

For all the Sino-foreign joint ventures, co-operation business and enterprises with sole foreign investment, if the approval of the project is authorized to our provincial government, the application procedure will be simplified and the course will be shortened. And the convenience of residence, travelling, vacation and visiting relatives will be given to the investors so as to provide them with favourable environment for investing, working and living.

The above regulations are applicable to the importation of technology and equipment

## AN OUTLINE OF SHANDONG'S ECONOMY

Situated on the sea coast, Shandong Province covers an area of 153,300 square kilometers with a population of 76 million. With abundant products and a fairly good foundation in industrial and agricultural production, as well as in sea-port communications, it is one of the country's better developed coastal provinces and has some of the country's main ports for trade with foreign countries.

### I. NATURAL RESOURCES

Shandong is rich in mineral resources. The ores, discovered and being mined, are about 90 kinds which include coal, petroleum, natural gas, iron, gold, copper, aluminium, diamond, graphite, gypsum, magnesium, barite, marble, granite, montmorillonite, and clay. The Shengli Oilfield is the second largest oilfield in the country. The Province's coal not only has large reserves but also has good quality as well as comparatively complete variety, mainly distributed in Yanzhou, Zaozhuang, Zibo and Taian. The Yanzhou-Tengxian Coal Center is one of the country's ten biggest coal bases. The gold reserves and output of Shandong are also fairly large. Jiaodong Peninsula is a fairly big gold production base of the country. The Province's gold output takes the first place in the country. Its building materials and non-metal ores have a great variety and widely distributed and have considerable reserves. At present about 20 kinds of non-metals are being mined, providing a good source for developing the industry of building materials.

The agricultural and aquatic resources are also very rich. Shandong's central and southern parts and Jiaodong Peninsula are chiefly hilly regions, while the northwest and southwest are plains, formed mainly of the deposits of Yellow River. Situated in the temperate zone and with an appropriate rainfall, sunshine and temperature, Shandong abounds in wheat, corn, rice, beans, potatoes as well as cotton, peanut, bast-fibre plants, tobacco, fruits, silkworm cocoons, etc. The Shandong big peanut, Longkou vermicelli, Yantai apples, Leling small dates, Feicheng peaches, etc, renowned both at home and abroad, are all Shandong's specialities with a distinctive

flavour. Shandong has a coastline exceeding 3,000 kilometers in length, with very broad shallows of over 730 thousand ha, of which 200 thousand ha can be used for aquatics, which means the Province has great potentialities in developing its aquatic industry. Its inshore aquatic resources provide more than 60 species of major economic sea products such as fish, shrimp, shellfish, kelp, algae and others. Its prawns, porgies, scallops, sea cucumbers and abalone are considered as treasures both at home and abroad.

The Province is beautiful in the scenery and abundant in relics and historic sites, which include, among others, such places as Jinan---the famous city of springs; Qingdao, Yantai and Weihai---the three picturesque summer resorts and beautiful seaside cities; Taishan--- "Head of Five Famous Mountains", Penglai---the fairy land on earth; Lingyansi---the most famous clay sculptures in the country"; the remains of Dawenkou Culture and Longshan Culture, capitals of the ancient Qi State and Lu State; the Kong Mansion, the Kong Temple, the Kong Woods and a rich variety of stone inscriptions by famous people of various dynasties. Shandong's valuable rich scenery has helped unfold a vast prospect for the Province to develop tourism.

## II. INDUSTRY, AGRICULTURE, COMMUNICATIONS, SCIENCE AND TECHNOLOGY

Since liberation, especially since the Third Plenary Session of the Party's 11th Central Committee, Shandong's industrial and agricultural production has made rapid progress. In 1984, the gross industrial and agricultural output value amounted to 77.28 billion yuan, and the provincial national income was estimated at 47.8 billion yuan, both reaching unprecedented levels.

**AGRICULTURE** The Province has an area of 7 million ha, of cultivated land, more than 167 large and medium-sized water conservation works, and 4.5 million ha, of effective irrigated land. The total power of farm machinery is 28.66 million HP. Grain production keeps going up steadily. In 1984 the Province gained an all-round bumper harvest in agriculture. The gross agricultural output value reached 31.66 billion yuan; the gross grain output was 30.4 billion kg; the cotton output was 1725 million kg; the peanut output was 1800 million kg and the fruit output was 1882 million kg. The total annual output of cotton, peanuts and fruit all took the first place in the whole country. The output of aquatic and marine products and the output of pigs, cattle and sheep held important places in the whole country. With

the gradual perfection of the responsibility system in agriculture and the development of commodity economy, agricultural production and the rate of commodities of farm sideline products will increase further.

**INDUSTRY** The gross output value of industry for 1984 reached 45.62 billion yuan. Before liberation, this province's industrial base was very weak. It had only a bit of light industries such as textiles, food, paper-making, flour, and matches. Now the Province has over 21,000 industrial enterprises beyond the township level. It has a great variety of industries and has a certain ability to produce most necessary products for major manufacturing on its own. Its textile and machine-building industries are comparatively well-grounded and its industries in petroleum, metallurgy, chemicals, electronics and building-materials also have a considerable scope. Its main industrial products such as coal, petroleum, petrochemicals, electricity, cement, synthetic leather, cotton yarn, machine-made paper, machine tools, tractors, etc. occupy an important place in the whole nation. Some traditional light industrial products of famous brands such as Qingdao Beer, Qingdao White Grapewine, Qingdao elastic underwear, Yantai "three circle lock", Zhoucun silk and Jinan towels all enjoy great prestige both at home and abroad. Many of the Province's machinery and chemical products such as machine tools, diesel engines, Taishan tractor, tires and barium carbonate are all welcomed by home and foreign consumers. The Province's handicraft products have a long history and have their own characteristics. Since liberation, especially in the past few years, the traditional technique has been fully developed. Drawnwork, crocheted and braided work, shell-carving, carpet-weaving and porcelain manufacture have been developed to a new stage.

**COMMUNICATION AND TRANSPORTATION** The conditions of the Province's railway, highway and sea transportation have been greatly improved. The Tianjin-Pukou Railway and the Qingdao-Jinan Railway run through the whole province. The Yanzhou-Shijiusuo Railway, the Xintai-Heze Railway and the Qingdao-Jinan Railway's multiple tracks, which are under construction, will be completed and put into operation in succession by this or next year. With its 20 or more seaports, the Province has very favourable conditions for sea transportation. The ice-free deep-water harbour of Qingdao, with spacious docks for deep-water shipping, is an important international seaport for our country. It now has 9 docks and 49 berths, of which 15 can hold 10,000-ton ships, with an annual gross tonnage of 21,000,000. The Yantai harbour has now 13 berths of which 3 can hold 10,000-ton ships with the rest for ships under 5,000 tons.

As an important port in northern China, its annual gross handling capacity is over 7,000,000 tons. The Shijiusuo deepwater harbour, which is being built with foreign investment, will be completed and put into operation soon. It will be able to hold ships of over 100,000 tons when completed. Shandong's self-run fleet has opened the routes to Hongkong, Japan and Southeast Asia.

AIR TRANSPORTATION Jinan, the capital of the Province, and Qingdao, a seaside city have regular flights to, and from Beijing, Shanghai and Dalian. It is planned to open 3 new domestic and international routes from Qingdao to Sian, Hongkong and Japan. Yantai also has regular flights to and from Shanghai and Beijing.

### III FOREIGN TRADE AND ECONOMIC COOPERATION WITH FOREIGN COUNTRIES

With a long history of foreign exchanges, Shandong is one of our country's major trading ports. Since liberation, especially since the Third Plenary Session of the Party's 11th Central Committee, through the implementation of the government's open-door policy, Shandong's foreign trade has undergone a further development. In 1984 the volume of exports reached 2.29 billion U.S. dollars, which was nearly 2 times more than that of 1978. The volume of exports of the Province in 1984, which made up 9.4% of the country's total volume of exports, ranked fourth in China. At present the Province has already established economic and trade relations with more than 140 countries and regions. In 1984 the volume of export to Hongkong and Macao, Japan, the United States, the European Economic Community, the Soviet Union and other eastern European countries made up 13.6%, 19.2%, 6%, 10.9% and 4.1% respectively of the Province's total volume of exports.

In recent years, Shandong has made a good beginning in utilizing foreign funds and in introducing technology from abroad. From 1979 to the end of 1984, in addition to the 11 key projects constructed with foreign funds of more than 1.87 billion U.S. dollars under the state's general arrangement, Shandong arranged by itself about 920 projects using foreign funds of almost 700 million U.S. dollars. Through compensatory trade, processing and assembly, international lease and loan, etc. Shandong has introduced a quantity of advanced technology and equipment from abroad, and technical renovations were carried out wholly or partially in 650 small and medium-sized enterprises with good results.

#### IV. THE PROSPECT OF ECONOMIC AND TECHNICAL COOPERATION WITH FOREIGN COUNTRIES

Shandong has great potential in economic and technical cooperation with foreign countries. The Province has rich natural resources and needs to exploit and utilize them urgently. It also needs to import some raw materials and introduce advanced technology from foreign countries for many of its old enterprises so as to help speed up their technical renovations. The conditions of agricultural production, the facilities for communications, transportation and tourism also have to be improved continuously.

In the course of future economic construction, the *open-door policy* will be firmly carried out, making full use of the Province's advantages and, on the basis of equality and mutual benefit, developing wide-range economic and technical cooperation with foreign countries and regions in various ways, and introducing, in a better way, advanced technique and management from abroad. Our principle is based on self-reliance and on learning from all countries so as to promote technical progress and the Province's economic prosperity.

(I) Speed up the technical renovation of the small and medium-sized enterprises and raise the level of industrial technology and management. During the period of the state's 7th Five-Year Plan, we are planning to renovate extensively a group of key enterprises of the main industries and trades, and enterprises that produce famous brand products by using foreign funds and imported techniques. At the same time, we shall speed up the development of new products by adopting advanced scientific and technological achievements. Thus, Shandong's industry will be built on the basis of advanced technology and modern management so as to raise the quality of products, change the structure of products, save on energy resources and raw materials and increase economic benefits. In introducing foreign technology for the machine building industry, emphasis will be on design and manufacturing technology and key equipment for numerical program-controlled machines, hydraulic pressure machines, energy-saving transformers, motors, meters and instruments, etc. For the electronic industry, emphasis will be on manufacturing technology, key equipment and testing instruments for electronic devices, electronic computers and communications equipment. For light industry, emphasis will be on advanced technology and key facilities for paper-making, machinery for manufacturing daily goods, food processing and packing, plastics processing and leather tanning. For the textile industry, emphasis will be

mainly on technology and equipment for finish processing of printing and dyeing so as to improve the quality of the textiles for cotton, wool, silk and knitted goods, etc, and add more varieties of products. For the chemical industry, emphasis will be on production technique and key equipment for the petro-chemical industry, coal-chemical industry, marine-chemical industry and rubber-chemical industry, etc. We may also cooperate with foreign countries in the field of scientific research, training of qualified personnel, exchanging of information and the development of soft ware.

(2) Exploit the Yellow River Delta and turn it into an important petro-chemical base as well as a new production base for agriculture and animal husbandry in the country. Among the three big deltas of our country, the Zhujiang Delta and the Changjiang Delta have long been economically developed areas, but the Yellow River Delta in our province remaining a treasure land waiting to be exploited. It has rich petroleum and gas resources. The Shengli Oil Field takes the second place in the country in its crude oil output. In the coming years, there will be a further increase by millions of tons each year. It is expected to become another "Daching" in the year 1989 and its annual output of crude oil may reach 100 million tons by the end of the century. This is a petro-chemical base of our country with a bright future. Here is the vast plain formed mainly by deposits of the Yellow River covering an area of 100 thousand hectares of fertile virgin land that waits to be exploited. This provides favourable conditions for us to set up a base for the production of agricultural, forest and husbandry commodities. There is also a coastline of 260 kilometers which can be used to build harbors and docks and develop the fishing and maritime shipping industries. The abundant underground and ground resources of the Yellow River Delta offer great attractions to the pioneers. We will join efforts with foreign investors to exploit this piece of treasure land.

(3) Bring into full play the advances of agriculture and build a base for processing agricultural products and by-products. Shandong is one of the important agricultural bases in the country. The commodity output of the products such as grain, cotton, oil, fruits, tobacco and silkworm cocoons is increasing year by year. There is great potential for developing the industry of processing agricultural products and by-products. Particularly, the western part and the northern part of the Province have better conditions for building such a base. A preliminary calculation shows that if half of the agricultural products and by-products of these areas are processed well, the output value will be doubled or tripled. These vast areas also offer

ample scope for the funds and techniques, and are ideal places for us to work together with friends abroad for joint ventures.

(4) Intensify the exploitation of coal resources and build the western part of the Province into a comprehensive co-processing base for electric power and coal. Yanzhou, Jining, Zaozhuang and Tengxian in Shandong have large coal reserves. In addition, this area has convenient water and land communications and is near the four lakes in the south. At home it is rare to see a natural economic area with such a good combination of coal, water and transportation conditions. The coal output of this area reached 15 million tons last year and is expected to reach 60 million tons by the end of the century. We will take advantage of these favourable conditions and utilize the coal comprehensively by using the development experience of the "Ruhr Industrial Zone" of the Federal Republic of Germany. We shall process the coal thoroughly and in various ways, electric power and the chemical industry with coal; develop chemical industry such as making synthetic ammonia with gas and develop dyestuff, plastics and synthetic fibre industries with coal tar, thus building this area into a base for the comprehensive processing of coal. We shall join efforts with foreign associates to speed up the exploitation of the coal resources in this area by means of compensatory trade.

(5) Expand the thorough processing of petroleum products and build a petrochemical base. The petrochemical industry takes a leading position in Shandong's chemical industry. The establishment of the 300-thousand-ton ethylene project can provide adequate raw materials for the development of the plastic industry, synthetic fibre industry and rubber industry and has opened a new field for the comprehensive utilization and thorough processing of petroleum resources. In the year 1986, this project will be completed and put into operation gradually. Half of its products will be processed within the Province and an output value of over 10 billion yuan will be increased each year. At present, the related projects of the 300-thousand-ton ethylene project are being planned and proved. We welcome all friends, who are interested in exploiting cooperative production of various kinds of plastics and synthetic fibre, to come to Shandong for business negotiations.

(6) Speed up the development of the southern part of Shandong and set up its own industrial base of building materials. Linyi Prefecture of the Province is rich in limestone, calcareous sandstone, gypsum granite, sandstone and other building materials. The building up of the Shijiusuo Deep-Water Harbor and the Yanzhou-Shijiusuo Railway has provided a favourable con-



dition for turning Linyi Prefecture into a building material base of the Province, or even the base of east China. We welcome foreign friends to cooperate with us in the construction of large lime factories, glass works, as well as in the exploitation of building material resources.

(7) Speed up the development and utilization of the shallow waters along the coast and build the Province's east coastal area into one of the country's biggest bases of aquatic products. A coastline of more than 3,000 kilometers in length and the broad shallows are the advantages of Shandong. We will bring these advantages into full play, cooperating with our friends outside China and compatriots in Hongkong and Macao and utilizing the advanced techniques of breeding, fishing, processing and refrigerating to develop actively the aquatic breeding in the shallows and seafishing. We will make a big breakthrough in both quantity and quality of the sea products and in the thorough processing. By 1990, the output of aquatic products will be 4 times as much as it is now.

(8) Fully utilize the rich natural resources and the favourable conditions of sea transportation and build Shandong into a base for foreign trade. Now, the Province exports more than 700 categories of goods of which more than 98% is supplied from within the Province, and moreover, the goods resources are stable. Some of its traditional products of famous brand enjoy great prestige in the international markets. The Province has great potentialities in the export trade. We will further expand the cooperation with foreign countries and set up a number of key production bases to produce goods for export according to the need of the international markets. By the end of the century the Province's total income of foreign exchange of commercial and noncommercial trade is expected to reach 10 billion U.S. dollars.

(9) Further develop the Province's tourist resources and expand tourism greatly. Shandong has favourable conditions and great potentialities in developing tourism. We will speed up the development and construction of the major tourist spots in Qingdao, Yantai, Taishan, Qufu, Weifang and Zibo by employing the overseas Chinese and foreign funds and will expand the new tourist spots, set up some new tourist service facilities and develop the production of tourist products in a planned way. The prospect of cooperation in this field with the friends from abroad is very wide.

(10) Fully utilize the advantages of the further opening of Qingdao and Yantai and build the two cities into a window of technique, management, knowledge and foreign policy. Qingdao and Yantai are situated in the east end of Shandong province. They are two comparatively developed places

of Shandong, both economically and technically. The air and sea transportation is easy; the light and textile industries are flourishing; the technical force is stronger; the economic hinterland is wide; and the market potential is great in the areas. The further opening of the 14 coastal cities including Qingdao and Yantai increased the vitality of these two cities in their economic and technological exchanges with foreign countries. The further opening of the two cities covers 4 main aspects. The first is to use foreign funds and introduce techniques so as to renovate the existing enterprises. This is the key point. The tentative idea is, by 1990, to complete the technological renovation of more than one third of the old enterprises by using foreign funds and introducing techniques in both cities. The first group of advanced cooperative items is about 280 in number. The second is to establish the economic and technological development zones where some policies and management systems of the special economic zones will be carried out, concentrate the forces on the establishment of some joint ventures, cooperative enterprises, enterprises of solely-foreign investment and cooperative research institutions, develop new techniques and set up some industrial projects with intensive technology and knowledge. The third is to expand the processing industry with the materials imported for reexport by adopting the encouragement policies such as the reducing or remitting of tax. The fourth is to exploit the tourist resources and develop tourism.

Since the State Council has decided to further open Qingdao and Yantai to the outside world, the economic and technological interchange between the two coastal cities and Hongkong, Macao regions as well as foreign countries has been stimulated gradually. By employing foreign funds and introducing techniques, the volume of business last year doubled the total of the previous 5 years. The construction of economical and technological development zones in both cities started last March and each basic installation is in full operation. Liuting airport in Qingdao will be suitable for giant liners to land and take off after the expansion. The expansion of Qianwan harbor in Qingdao and Xigangchi harbor in Yantai is going on smoothly, and on completion, the annual gross handling capacity of these two harbors will respectively reach 60,000,000 and 10,000,000 tons. The two cities are working hard at preparing to construct the modern communication networks. At the same time, with the approval of the State Council, Weihai harbor and Longkou harbor began to open to the outside world on April 1st, 1985, allowing foreign ships to call. At present, the two harbors can hold 5000-ton ships and the berths which can hold over 10,000-ton ships.

are under planning. With the implementation and improvement of the above mentioned points, the two cities will provide a better economic and technological cooperative environment for both Shandong and the outside world, and become even more attractive places for investment.

Shandong has great potential in economic and technological cooperation with foreign countries. The requirements are preferential, convenient and safe. There is a vast world where much can be accomplished. We warmly welcome friends of financial circles, economic and trade circles, science and technological circles and other circles from different countries and regions to come to Shandong for sightseeing and trade negotiating and for expanding the economic and technological cooperation on the basis of equality and mutual benefit. We welcome you to join us in the exploitation of Yellow River Delta; in the exploitation of the mineral, agricultural, oceanographical and tourist resources in Shandong; in the exploitation of new technology as well as new products. We welcome you to invest in the construction of harbors and docks in Shandong and to initiate the economic and technological development zones hand in hand.

## V. PREFERENTIAL POLICIES FOR FURTHER OPENING QINGDAO AND YANTAI TO FOREIGN COUNTRIES

According to the State Council's pertinent stipulations and in consideration of the specific conditions of the Province, the following preferential treatment will be granted to foreign investors:

### 1. TAXES

For the productive enterprises with joint investment, by co-management or with solely-foreign investment in the old urban districts, the rate of the income tax of those technological and information intensive projects and projects with a foreign investment over 30 million U. S dollars can be reduced to 15% with approval by the country's Ministry of Finance. The rate of the income tax of all the productive enterprises and scientific research institutions established with a foreign investment and advanced technology within the economic and technological developing zones will be reduced to 15%. As to enterprises of joint investment, cooperative enterprises and enterprises established with solely-foreign investment involving energy resources, communication, and harbor construction, no matter whether they are in the old urban districts or within the developing zones, the rates of income tax will all be reduced to 15%. The period for tax reduction and

exemption as well as for cooperation can also be extended. When the legal profits made by the foreign investors in the developing zones are remitted to foreign countries, according to the remittance amount, the 10% income tax that is legally charged shall be exempted. If their profits are used as part of reinvestment, the investors can apply for tax reduction or exemption.

In regard to the above-mentioned enterprises, foreign investors shall be exempted from customs duty and industrial and commercial consolidated tax for the equipment and building materials imported as part of investment and used in production and management, raw materials, components, parts and packing materials to be imported and processed as exports, vehicles and office articles for self-use by the enterprises, other articles and cars (limited to a reasonable quantity) imported for the use of foreign investors and technical staff personnel. The products (excluding products restricted in export) of the above mentioned enterprises will be exempted from export duties and industrial and commercial consolidated tax.

The importation of building materials, production equipment, raw materials, spare parts, components, vehicles and office articles for the developing zones or to be used by the enterprises within the zones and the exportation or sales on the domestic markets of the products will be handled in accordance with the preferential treatment of the special economic zones.

## 2. SALES MARKET

Foreigners who have really provided enterprises with advanced technology, techniques and equipment can sell a proportion of their products in home markets. Specific terms can be decided through negotiation.

## 3. LAND RENT

The rent levied upon the use of land by foreigners who have invested in the construction in the two cities can be converted into an investment by the Chinese side and profit will be obtained accordingly. The rate of rent shall vary with different types of investment and purpose of use with the principle of giving more preferential treatment. Specific terms shall be decided flexibly by the two cities within the range of state stipulations.

4. *Foreign investors' profits shall be guaranteed and the proportion that should be remitted to foreign countries, Hongkong, Macao and Taiwan shall be exchanged into foreign currencies.*

5. The joint-invested, co-operative enterprises and enterprises of solely-foreign investment are independantly-run units and have the legal right of self-determination. They have the right to employ and dismiss labourers

with whom contracts will be signed and acted upon. The enterprises have the right to decide their own forms of pay.

6. The joint-invested and co-operative enterprises will be administered by a responsible manager under the leadership of the board of directors.

7. The principle of equality and mutual benefit will be observed. Under normal production and management, foreign investors will gain a profit higher than the average interest rate of international banking.

8. Water, electricity and gas (or coal) needed for production and daily life by the joint-invested, co-operative enterprises and enterprises of solely-foreign investment shall be guaranteed. First priority will be given to the arrangement of their communication and transportation. When confronted with lack of funds in production, Chinese banks may provide loans for them.

9. Preferential treatment in pay and life necessities will be given to foreign experts, engineers and technicians. They will enjoy yearly a period of time for travelling. The travelling within the Province will be paid by the enterprises for which they work. Those who have worked for a year can enjoy one month of holidays with pay. Those who have made prominent contributions will be rewarded.

10. Convenience will be given to the above-mentioned foreign personnel for their entrance into and departure from China by simplifying the procedures. Multiple entrance and exit visas can be granted to them.

A special corporation which acts as a legal person has been set up in each city, responsible for the business concerned, by simplifying procedures and keeping in contact with foreign investors in the field of economic and technical co-operation. Meanwhile, each has established an administrative organization to be wholly in charge of the adjustment, examination and approval of the establishment of co-operative projects. Each enjoys self-determination, authorized by the State Council and the Provincial Government of Shandong, to carry out economic activities with foreign countries. Now a number of projects have been planned, ready for economic and technical co-operation. All investors including foreigners, overseas Chinese, compatriots from Hongkong, Macao and Taiwan are welcome to come over for the negotiation of the co-operative matters concerned. The Province and the two cities are endeavouring to speed up the construction of some basic facilities such as aviation and telecommunications so as to create a better environment for foreign investors.

Shandong Foreign Economic Relations & Trade Commission

Address: 1 Shengfuqian street, Jinan, Shandong, China

Tel: 23951 ext. 2155, 2466

Cable: 1550 JINAN

Telex: 39122 FERTCCN

China Qingdao Foreign Economic Relations & Trade Commission

Address: 17 Hubei Road, Qingdao, Shandong, China

Tel: 86701 ext. 363

Cable: 16473 TFTB

Telex: 32246 FTOQD CN

China Yantai Foreign Economic Relations & Trade Commission

Address: 16 Yuhuangding Road, W. Yantai, Shandong, China

Tel: 24451 ext. 556, 557

Telex: 39132 CTEYT CN

李昌安省长在《山东省  
鼓励外商投资优惠措施》新闻发布会上的讲话

女士们、先生们、同志们：

首先，我代表山东省人民政府向大家表示热烈的欢迎，并对你们在增进我省同世界各国和地区的了解和友谊，扩大经济贸易往来方面作出的努力，表示衷心的感谢！

十月十一日国务院公布了《关于鼓励外商投资的规定》。今天的新闻发布会，主要内容是向大家公布我省根据国务院规定所制定的鼓励外商投资的具体优惠措施。

自我国实行对外开放政策以来，国务院已经制定了一系列吸引外资的优惠政策。根据对外开放形势发展的需要，最近又公布了《关于鼓励外商投资的规定》。这些优惠政策规定，充分说明了实行对外开放是我国一项长期的基本国策，执行这项政策是我国人民坚定不移的方针，我们一定要坚决贯彻执行。

一九八四年以来，我省兴办外商投资企业有了一定进展。目前，全省已颁发批准证书的外商投资企业有60家。其中，中外合资经营企业51家，中外合作经营企业9家。这些企业主要分布在青岛、烟台、济南、潍坊、济宁、临沂、淄博等市地。其中青岛、烟台占总数的63.3%。合作领域涉及到机电、纺织、轻工等二十多个行业。

国外合作者来自日本、新加坡、英国、芬兰、印度尼西亚、新西兰等国家、香港、澳门地区。还有一些项目正在洽谈之中。

几年来，我们始终坚持平等互利的原则，把利用国外资金、引进先进技术，促进我省经济发展，提高生产技术和经营管理水平，使中外双方都有利可得，作为兴办外商投资企业的指导思想。在实际工作中，我们根据国务院的有关政策，结合我省实际情况，积极制定和实行了一些优惠措施，为外商前来投资兴办各项事业，逐步创造了一个良好的投资环境，从而发展了一批产品出口企业和先进技术企业。目前，全省已批准的生产性外商投资企业，按合同规定，产品出口比例在65%以上。在已建成投产和开始营业的25个外商投资企业中，大部分能够取得较好的经济效益，实现外汇收支自行平衡。这不仅对我省的经济的发展起了促进作用，而且使投资的客商也获得了利益。事实证明，我们兴办的外商投资企业，绝大多数是成功的，发展情况是好的。

但是，由于我们实行对外开放时间不长，特别是举办外商投资企业的工作还处在起步阶段，在同国外朋友开展经济技术合作方面我们还缺乏经验，投资环境仍有不如人意之处，在税收、劳动工资、土地使用费、企业经营自主权、资金借贷、物资供应等方面也还存在一些问题。对这些不足之处，我们要通过贯彻国务院鼓励外商投资的



规定，认真加以解决。

众所周知，山东省资源丰富，工农业生产和交通均有较好的基础，发展对外经济贸易有着广阔的前景。“七五”期间，我们将进一步敞开山东大门，从经济建设的实际需要出发，在平等互利的基础上，大力加强与世界各国和地区的联系，在更广泛的领域里进行灵活多样的经济技术合作。我们的基本设想是：以发展产品出口企业和先进技术企业，加快能源、交通、港口等基础设施建设为重点，进一步扩大利用外资、引进技术的规模，逐步把胶东半岛地区建成辐射能力较强、技术水平较高的外向型经济区。同时，根据各地资源和生产情况，进一步发展一批在国际市场上具有较强竞争能力的传统产品、名特产品、创新产品。为此，我们除认真贯彻执行国务院鼓励外商投资的规定外，还确定采取以下优惠措施：

(1) 对产品出口企业和先进技术企业，降低中方职工的劳务费用。中方职工的实得工资仍按当地同行业职工工资的120%至150%的规定办理，除按照国家规定支付或者提取中方职工的劳动保险、福利费用和住房补助基金外，免缴国家对职工的各项补贴。所提住房补助基金留企业，用于解决本企业职工的住房困难。

(2) 对产品出口企业和先进技术企业的场地使用费，凡开发费和使用费综合计收的地区，为每年每平方米五元至二十元；凡开发费

一次性计收或者上述企业自行开发场地的地区，使用费最高为每年每平方米三元。对先进技术企业，经企业所在市人民政府和地区行政公署批准，可免收场地使用费五年。对当年企业出口产品产值占当年企业产品产值60%以上的企业，可免收场地使用费五年，各地还可根据实际情况适当延长。对外商投资企业的基础设施费，只收扩容的实际工程费。

(3) 对产品出口企业和先进技术企业优先提供生产经营所需的水、电、气、热、运输条件和通信设施，按照当地国营企业收费标准计收费用。对上述企业生产经营所需的物资，凡我省能够供应的，按照合理价格优先供应。供应不足的，可由企业组织进口解决。

(4) 产品出口企业按照国家规定减免企业所得税期满后，凡当年企业出口产品产值达到当年企业产品产值70%以上的，按照现行税率减半缴纳企业所得税。经济技术开发区内的产品出口企业，符合前款条件的，减按10%的税率缴纳企业所得税。上述产品出口企业，免缴地方所得税七年。

(5) 先进技术企业按照国家规定减免企业所得税期满后，可以延长三年减半缴纳企业所得税。这类企业自投产获利的年度起，免缴地方所得税八年。

(6) 产品出口企业和先进技术企业的外国投资者，将其从企业分得的利润汇出境外时，免缴汇出额的所得税。

(7) 外国投资者将其从企业分得的利润，在中国境内再投资举办、扩建产品出口企业或者先进技术企业，经营期不少于五年的，经申请税务机关核准，全部退还其再投资部分已缴纳的企业所得税和地方所得税税款。经营期不足五年撤出该项投资的，应当缴回已退的企业所得税和地方所得税税款。

(8) 外商投资企业的出口产品，除原油、成品油和国家另有规定的产品外，免征工商统一税。

(9) 外国投资者将其从企业分得的利润不以现汇形式汇出，而用于购买我省的产品替代时，在同等价格、质量要求条件下，优先供应。这部分产品出口免征工商统一税。

(10) 对外商投资企业，特别是举办能源、交通、港口建设的外商投资企业，为了解决其外汇平衡问题，可以实行综合补偿的办法。经批准，外国投资者可将获得的利润人民币，用于购买我省外贸出口计划外或者完成收购计划后的产品出口。这部分产品出口免征工商统一税。

(11) 对先进技术企业，凡近期内外汇不能平衡的，可由省和企业所在市、地拨出部分外汇调剂解决。允许外商投资企业之间，在外汇管理部门监管下，相互调剂外汇余缺。

(12) 对外商投资企业的项目，按照合同规定的年限，作为重点项目予以保证。其工程施工、建筑费用，按照省内同行业国营企业收费标准计收费用。

(13) 产品出口企业和先进技术企业，实行固定资产递减余额折旧法。所提折旧费可用于归还抵押贷款。余额折旧率规定为：建筑物15%，机械设备20%，交通工具和电子仪表30—40%。余额落到原值的10%，则停止提取固定资产折旧费。

(14) 外商投资企业工作的外方职员，在山东省境内因公出差，其食宿、交通（包括飞机、火车）和邮电的收费水平与国内职工享受同等待遇，可以用人民币缴纳费用。有关企业和单位，可凭外商投资企业介绍信或本人在合营企业的工作证，给予优惠待遇。到省外因公出差，上述各项费用由企业按照财务规定予以核销。

(15) 保障外商投资企业依照国家法律、法规行使的自主权。企业有权依照合同、章程制定本企业的发展规划和生产经营计划；有权建立适合本企业的财务管理制度及其他经营管理制度，决定本企业的利润分配方案和财务收支预算；有权对不属于国家定价的产品自主定价；有权确定职工的工资标准、工资形式，制定津贴、奖惩制度；有权招聘、招收、辞退或者开除职工，但须向当地劳动部门备案；有权决定企业内部机构设置和人员编制，聘用或者辞退高级管理人员，

有次拒付对企业乱摊派和不合理负担。

上述十五条优惠措施，是我省根据目前情况制定的。今后，我们还将按照国家有关政策规定，不断补充、完善，进一步为外国投资者提供更好的投资环境和条件。对国家和我省已公布的优惠政策措施，我们一定要贯彻执行好，确保落实兑现，保障外商投资企业享有充分的生产经营自主权及其他合法权益。正如邓小平同志最近所指出：“外国企业家在中国投资最没有风险。”希望国外朋友们和港、澳、台同胞们，尽可放心大胆地来山东投资办企业。我们热忱欢迎世界各国和港、澳、台等地区的金融界、经济贸易界、科学教育界、旅游界及其他经济组织的朋友们来山东洽谈经济技术合作和贸易业务，我们愿为一切与我合作的伙伴尽量提供方便条件，我们也希望与会的朋友们、同志们、新闻界的记者们，进一步广泛宣传我国的对外开放政策，介绍我们山东的情况和鼓励外商投资的优惠措施，以便通过我们大家的共同努力，推动我省利用外资工作更快发展，在更广阔的领域里不断扩大国际经济技术合作事业。

谢谢大家。

· 7 ·

## 「山東省が行う、外国からの投資奨励のための優遇措置」新聞 公表会における李昌安省長のあいさつ（訳）

まず、山東省人民政府を代表し、みなさまに心からの歓迎の意を表するとともに、みなさまが我が省と各国、各地域との理解、友好関係の発展、経済、貿易関係の拡大の面でなされている努力に対し、心から感謝いたします。

10月11日、国務院が、「外国企業家の投資奨励に関する規定」を、公布しましたが、今日のニュース公表会の目的も、この国務院規定の定めた、外国企業家の投資奨励の方針に基づいて、我が省が行う具体的な優遇措置をみなさんに公表することにあります。

我が国が、対外開放政策を実施して以来、国務院は已に、一連の外資引きつけの優遇政策を定めてきましたが、この度対外開放の一層の発展に伴って、再び「外国企業家の投資奨励に関する規定」を公布しました。こういった優遇政策の規定に、よく表れているように対外開放は、我が国の長期的な基本国策であり、この政策を推し進めることが、我が国人民の不変の方針で、私達もこれを徹底して、実行していくつもりです。

1984年以来、我が省における外国資本の企業の増設状況は、良好で現在区に許可証をもらった外資企業は、全省60を数え、そのうち、内外共同投資の企業が51、内外の共同経営の企業が9社あります。これらの企業は、主に青島、煙台、済南、濰坊、済寧、臨沂、淄博等に集まっています、そのうち、青島、煙台が全体の63.3%を占めています。又、共同して行っている業種は、機械、電機、紡織、軽工業など、20余業種に及んでいます。協力の相手国は、日本、シンガポール、アメリカ、フィンランド、インドネシア、ニュージーランド等と、ホンコン、マカオ等の地域ですが、その他についても現在、交渉が進められています。

数年来、私達は一貫して、平等、相互利益という原則を守って来ました。先進的な技術を導入し、我が省の経済発展を促進し、生産技術と経営管理能力を高めるとともに、内外双方に利益をもたらすことを外資企業創設の基本理念としてきたのです。実際、私達は、国務院の政策に基づき、又、我が省の実情をも考慮して、進んで優遇措置を定め実行し、国外資本家が投資し、各種の企業を創設するのに備え、徐々に投資に恵まれた環境を作って来ました。その結果、輸出品生産企業、先進的技術を備えた企業が、発達してきました。現在、全省の許可済みの生産型の外資企業は契約により、製品の65%以上を輸出しています。又、生産あるいは、経営を始めた25の外資企業の大部分は経済効率も良く、外貨収支の平衡を保っています。このような状況は我が省の経済発展を促進していることはもちろんのこと、又、投資家にも利益をもたらしており、私達が創設した外資企業は、大部分が性向しており、順調に成長しているということが出来るでしょう。

しかし、対外開放政策もはじまってからまだあまりたっていない上、外資企業の開設にいたっては、まだスタートの段階にあり、外国の友人との経済技術協力において、私達は、経験不足であり、投資の環境もまだまだ思うにまかせないところがあります。税金の徴収、給料、用地使用量、企業経営の自主

権、資本金の貸借、資材調達等についても、まだいくつか問題が残っています。私達は、國務院の今回の規定をしっかりと実行することで、これらの問題を解決していかなければならないでしょう。

よく知られているように、山東省は豊富な資源に恵まれ、工業・農業生産、交通ともに比較的良好な基礎を有し、対外経済貿易の面で将来にわたり、大きく発展することが期待されます。第7次5カ年計画期間において、私達は山東省の門戸を更に大きく開き、経済建設に実際に必要であるという条件の下で、平等、相互利益を基本として、世界各国、各地域との関係強化に力を注ぎ、更に広い領域において、その場その場に合った、多様な形で経済、技術協力を進めていくつもりです。私達の基本的構想は、輸出品生産企業、先進技術企業の発展、エネルギー、交通、港湾等基礎設備の建設促進を重点として、外資利用、技術導入の規模を更に拡大し、膠東半島地区を影響力の強い、技術レベルの高い外向型経済地区にしていこう、というものです。又、それと同時に、各地の資源や生産の状況に基づいて、国際市場において、比較的強い競争力を持っている伝統的製品、名産特産品、我が国で作りだした独特の新製品の生産の拡大にも力を入れていく考えです。そこで、以上の構想を実現するために、私達は、國務院の国外資本の投資奨励に関する規定の実行に力を入れる外、以下の優遇措置をとることを決定しました。

- (1) 輸出品生産企業及び、先進技術企業について、その中国側職員、労働者の労務費用を削減する。中国側職員、労働者の手にする給料は、従来通り当地の同業者給料の120%から150%という規定にもとづいて決める。国家の規定に基づき、中国側職員等の労働保険、福祉関係費用及び、住宅手当て基金を支払う、或は引き出す以外、職員、労働者に対する様々な手当ては支払わなくてよい。引き出した住宅手当て基金は、企業にとどめ職員等の住宅問題の解決にあてる。
- (2) 輸出製品生産企業及び、先進技術企業の団地の使用代は、開発費と使用代とを合わせて計算し支払う地区においては、1年につき1平方メートル、5元から20元とし、開発費を一度に支払うところ、或いは企業が独自で用地の開発をする地区においては使用代は、1年の最高額を1平方メートル3元とする。先進技術企業については、その所存する地域の人民政府と地区の行政官庁の認可を経た場合、使用代を5年免除する。又、1年の輸出製品総額が、製品総額の60%以上にのぼる企業についても、用地使用代を5年間免除する。又、各地ともそれぞれの実情に基づき、適当な範囲でその期間を延長することができる。又、外資企業の基礎設備費については、増えた分の工事費だけをとる。
- (3) 輸出品生産企業、先進技術企業に対し、生産、経営に必要となる、水、電気、ガス、エネルギー、輸送条件、及び通信施設を優先的に提供し、その他の国営企業の標準に従って、その費用を計算、徴収する。上述企業が生産経営上必要とする資材についても、我が省で供給可能なものは、合理的な価格で、優先的に供給する。供給しきれないものは、企業の組織を通じて輸入することができる。
- (4) 輸出品生産企業は、国の規定により、企業所得税、減税期を過ぎた後も、その年の輸出製品総額が、同じ年の製品総額の70%以上の場合は、現行の税率に基づき企業所得税を半分免除される。経済技術開発区内の輸出品生産企業で、前述の条件を満たすものも、企業所得税を10%免除されている。上述の輸出品生産企業は、7年間、地方所得税を免除される。

- (5) 先進技術企業は、国の規定により、企業所得税の減免税期間を過ぎた後も、3年間企業所得税の半分を免税される。この種の企業は、生産を開始し利益を上げ始めた年度より8年間、地方所得税を免除される。
- (6) 輸出品生産企業及び、先進技術企業の外国人投資者は、企業から得た利益を国外に送金する場合、その送金額の所得税を免除される。
- (7) 外国人投資者が、その企業から得た利潤で、中国国内で再び投資して、輸出品生産企業或いは、先進技術企業をおこす、或いは拡大する場合、経営期間が5年以上なら、税務機関の許可を得た上で、已に収めたその再投資分の企業所得税と地方所得税全額の払い戻しを受けることができる。しかし、経営が5年に満たないうちに、この投資を撤収する場合には、已に払いもどされた企業所得税、地方所得税を再び払わなければならない。
- (8) 外資系企業の輸出品のうち、原油、製品化された石油、及び国が外に定めた製品以外のものは、工商統一税を免除される。
- (9) 外国人投資者が、その企業から得た利潤を現金の形で送金するのではなく、我が省の生産品を買って、それに代える場合、同等の価格、品質という条件の下で、優先的に供給するとともに、この生産品の輸出については、工商統一税を徴取しない。
- (10) 外資企業、特にエネルギー、交通、港湾建設関係の外資企業に対しては、その外貨平衡問題を解決するため、総合的保障の方法をとる。外国人投資者は、許可を経た上で利潤として得た人民元を使って、我が省の輸出計画外、或いは売買計画がおわってしまった生産品を買い輸出することができる。また、この分の工商統一税は免税とする。
- (11) 先進技術企業のうち、短期間のうちに外貨の平衡がのぞめないものは、省、企業の所在する市、地区がある程度外貨を出して調整を計り、また外貨管理方面の監督の下で、外資企業の間で、互いに外貨の調整を行うことを認める。
- (12) 外資企業の項目に対しては、契約の定める年限に基づいて、重点項目として保障する。その工事設計、建築費用は、省内の同業の国営企業を標準として徴収する。
- (13) 輸出品生産企業と先進技術企業は、固定試算の余額逦減償却法を実行し、引き出した減価償却費は技術施策貸付け金の返納にあてる。余額減価償却率は、建築物15%、機械設備20%、交通機械及び電子計器30~40%と定め、余額が原価の10%にさがった時点で、固定試算減価償却費の引き出しを停止する。
- (14) 外資企業の外国側職員が、山東省内で工務で出張する場合、その食費、宿泊費、交通（飛行機、汽車を包む）費、郵便電信費は、国内の職員、労働者と同じ費用を払えばよく、また人民元で払うことができる。関係する企業、職場は、外資企業の紹介状か本人の共同企業の身分照明書に基づいて、優遇措置をとる。省外に公務で出張する場合、上の各種費用は、財務規定に基づき、企業によって決済される。
- (15) 外資企業は、国の法律・法規によって、その自主権を行使することを保障される。企業は、契約



書、規定に基づき、企業の拡大計画、生産経営計画を定める権利、又、その企業に適した財務管理制度等の経営管理制度をうちたてたり、企業の利潤配分案、財務収支予算を決定したりする権利を有する。また、国家が定価を定めていない製品の価格を独自に決定することもできる。職員、労働者の給料の基準、給料の形式を確定すること、諸手当、賞罰制度を決めること等も、企業の権限で行うことができる。また、職員、労働者の招聘、募集採用、辞退職、免職にかんしても権限を持つが、これは、その他の労働関係機関に対して報告、行政登録をしなければならない。その他、企業内部の機構の決定、人員編成、上部の景観管理職院の招聘、雇用、或いは辞退職に関しても権限を有し、企業に対する不合理な割り当てを拒むこともできる。

上述15条の優遇措置は、我が省が現状にもとづいて制定したもので、今後、国の政策規定により、たえず補充を行い、外国人投資者によりよい投資環境、条件を提供していくつもりです。国及び我が省が今までに公布した優遇措置は必ずしっかりと実行し、外資企業が十分な生産経営の自主権及びその他の合法的な権益を享受できることを保障します。鄧小平同志が、最近指摘したように、「外国の企業家は、中国で投資するのが一番安全」なのです。外国の親友のみなさん、ホンコン、マカオ、台湾の同胞のみなさんが安心して、どんどんと山東にし、投資して企業をおこすことを願っています。私達は、世界各国、ホンコン、マカオ、台湾等の金融界、経済、貿易界、化学教育界、旅行業界及びその他の経済的組織の友人が、山東を訪れ、経済技術の協力や貿易業務について話し合いを行うのを心から歓迎します。私達は、私達と協力してくださる仲間には、どなたにもできるだけよい条件を提供したいと思っています。また、今日の界に出席している友人のみなさん、同志諸君、報道界の記者の方々にも、あなたがたが中国の対外開放政策をさらに広く宣伝してくださるよう、我が省の状況、また、我が省が、外国人の投資に関して行っている優遇措置についても、広く紹介してくださるよう、お願いいたします。私達が力をあわせて努力することで、我が省の外資利用を一層順調に行うことができるとともに、それがまた、更に広い範囲において、国際的な経済、技術協力を絶えず広げていく、ということにもつながるのです。

どうもありがとうございました。

# 山 東 省 基 準

## 魯 西 黃 牛 ( 訳 )

本基準は、魯西黄牛の品種鑑定と等級評定の基準である。

### 1. 品種の特性と特徴

#### 1. 1 外見上の特徴

魯西黄牛は大型で、筋肉が発達し、腿がはっきりと浮き出し皮膚が薄く、被毛が細くがっちりとし、均整のとれた形をしている。き甲はやや高く、肩は広く厚く、胸も広く厚みがあり、背腰は平直で、尻はやや傾斜し、肢制は正しく、蹄もしっかりとしており、行動も敏速である。また、雄牛は頭が四角ばっていて、くびが太く短く、やや隆起し、かたもそりあがっていて、前軀の発達が好ましい。雌牛は男の品位が良く、くびは細く隆起しておらず、長さもちょうどよい。乳房の発育も比較的よい。

背部の被毛は、うす黄色からチョコレート色で限及び口周囲、腹の下側と四肢の内側のいろがうすくなっている例が多くこれを通称“三粉”といている。また、鼻鏡は赤のことが多い。雄牛の角は太く大きく、多くが龍門角が逆さにした八の字形の角で、雌の角は、細くて短い。

#### 1. 2 生産能力

##### 1. 2. 1 役用能力

魯西黄牛のけん引力は、一般に体重の60%であるが、体重の15%~20%しかないことも多い。また、砂質の土壌の耕地における歩行速度は、0.84m/秒、車を引いた場合(平坦な所で1,000kgを引いた場合)は、1.2~1.6m/秒である。

##### 1. 2. 2 食肉としての価値

魯西黄牛は肉質が好ましく、筋肉の繊維が細くはっきりとした大理石状の模様(脂肪交雑)を呈していて「五花肉」と呼ばれている。混合飼料の1日あたり供給量が2kg、飼料の可消化粗蛋白質含有量が400gの飼養条件における日増体量は12~18カ月の雄牛の場合、0.63kg雌牛の場合、0.45kgである。

飼料の利用率：1kg増体当たり、雄牛で7.2飼料単位(燕麦単位)、雌牛で8.6単位を必要とする。

産肉制については、表1参照。

表 1

項目 \ 月齡	18	24	30	平均
屠 殺 率	57	59	58	58
(正味の肉だけの占める割合) 純 肉 率	48	51	50	49.6
骨 肉 比	1 : 5.4	1 : 7.1	1 : 7	1 : 6.5
ロ ー ス 面 積 (cm <sup>2</sup> )	86.5	95.5	129	103.6

### 1. 3 繁殖能力

#### 1. 3. 1 雌牛の繁殖能力

性周期は通常22日(16~35日)で、発情は2、3日続く。また、始発情は274.5日(±33.4)日に訪れ、“初回種付”が一般的は、1.5才から2才の時である。妊娠期間は285で、産後の発情再開は35日(22~79)で、生涯産子数は通常7頭ないし8頭で、10数頭のものもある。又、生時体重は、雄で22~35kg、雌で18~30kgである。

#### 1. 3. 2 雄牛の繁殖能力

雄牛は、1才前後で、成熟した精子を生産し始め、交配供用開始年齢は2~2.5才である。繁殖能力があるのは、通常5~7年間であるが、飼養管理の仕方によって、10才になってもかなりの繁殖能力を有している場合もある。

## 2. 等級の審査基準

### 2. 1 外観の基準

魯西黄牛の外観による審査については、まず表2の規定に基づいて総点を出し表2によって、等級確定する。品種の特徴が見られないものについては審査の対象としないが、概ね品種の基準に叶っている場合は鼻鏡に斑点がある。口の周囲に少量の異毛(色のこいもの)がある「三粉」が不完全、不鮮明である。背中の毛色がやややすい等の問題があるとしても、その他を考慮の上審査を行う。

表2 魯西黄牛の外観の点数表

項目	基準	雄牛満点	雌牛満点
品種の特徴	背中の毛は黄色からチョコレート色で、「三粉」の特徴をもち、鼻鏡は赤である。雄牛は、龍門角か逆さ八字角をしている。	10	10
体つき	体軀は、幅広く厚みがあり、全体に均整がとれている。又体のしまりが良く、筋肉が豊かで、腿がはっきりと浮きでて皮膚が薄く、被毛が細い。	15	15
頭・首	頭の形はよく、雄牛は雄らしい顔つき、雌牛も整った美しい顔つきをしている。額は広く平らで、口は角ぼり、目は大きく生き生きとしている。又、雄牛の首は太く短く、ややもりあがっている。一方、雌牛の首は細くて、隆起もない。頭と首の結合も良い。	5	5
前軀	雄のき甲は高く広く肩が発達している。雌牛のき甲は平らで広い。胸は広く厚みがあり、肩は長く傾斜している。	20	15
	背腰は平直で幅広く、長さは適度で移行がよい。肋骨は張		

中 軀	りがよく丸くなっている。腹部については、雄が円筒形をし雌は大きくても下垂していない。	15	15
後 軀	尻は広く長い、傾斜は強くない。臀部と腿は太く厚みがあり、筋肉が発達している。雄牛の精巢の発育は正常で、雌牛の乳房の状態もよく乳頭が整っている。	20	25
四 肢	(骨) 緊りよく肢勢もよい。蹄が大きく、質ちみつで、又蹄の間にすきまがなく、動作は力強く活発である。	15	15
合 計		100	100

主な長・短所：

魯西黄牛の外貌による等級の審査については、表2参照。

表3

等 級	雄 牛	雌 牛
特	85点以上	80点以上
一	80	75
二	75	70
三	70	65

## 2. 2 測尺値の基準

魯西黄牛の測尺値の基準については、表4、表5参照。

表4 魯西黃牛の測尺値標準(雄)

cm

年 齡	等 級	項 目					
		体 高	体斜長	胸 囲	管 囲	腰角幅	尻 長
五 才 以上	特 一 二 三	148	166	207	20.5	44.0	55
		143	160	200	20.0	41.0	52
		138	155	193	19.0	39.0	49
		134	150	188	18.5	37.0	46
四 才	特 一 二 三	146	162	201	19.5	42.5	53
		141	156	195	19.0	40.0	50
		136	151	188	18.5	38.0	47
		132	146	182	18.0	35.0	44
三 才	特 一 二 三	142	156	193	19.0	41.0	51
		137	151	186	18.5	38.0	48
		132	145	180	18.0	36.0	45
		128	141	174	17.0	34.0	42
二 才 半	特 一 二 三	138	149	185	18.5	39.0	49
		134	144	180	18.0	37.5	47
		130	140	174	17.0	35.0	44
		126	136	169	16.5	33.0	41
二 才	特 一 二 三	132	139	174	17.0	37.5	47
		128	134	169	16.5	36.0	45
		124	130	164	16.0	34.0	43
		120	126	158	15.5	32.0	40
一 才 半	特 一 二 三	128	132	164	16.0	35.0	44
		124	128	159	15.5	33.5	42
		120	124	154	15.0	32.0	40
		116	120	148	14.2	31.0	39
一 才	特 一 二 三	120	121	150	15.0	33.0	41
		116	117	145	14.5	31.0	39
		112	113	140	14.0	30.0	37
		108	109	135	13.5	28.0	35
八 月 齡	特 一 二 三	112	121	134	13.0	31.0	39
		108	117	130	12.5	30.0	38
		104	113	125	12.0	29.0	36
		100	109	120	11.5	29.0	34

表5 (雌)

cm

年 齢	等 級	項 目					
		体 高	体斜長	胸 囲	管 囲	腰角幅	尻 長
五 才 以 上	特 一 二 三	132	148	181	17.5	40.0	50
		128	143	175	17.0	37.5	47
		124	139	170	16.5	35.0	44
		120	134	164	16.0	33.0	41
四 才	特 一 二 三	130	144	177	17.0	38.0	48
		126	140	171	16.5	36.0	45
		122	135	166	16.0	33.5	42
		118	131	160	15.5	30.5	38
三 才	特 一 二 三	129	142	173	16.5	37.0	46
		125	138	168	16.0	34.5	43
		121	133	162	15.5	33.0	41
		117	129	157	15.0	30.0	37
二 才 半	特 一 二 三	126	136	166	16.0	36.0	45
		123	133	162	15.5	34.5	43
		118	127	156	15.0	32.0	40
		115	124	152	14.5	29.0	36
二 才	特 一 二 三	124	129	161	15.5	35.0	44
		120	125	156	15.0	33.5	42
		116	121	151	14.5	32.0	40
		112	116	146	14.0	28.0	35
一 才 半	特 一 二 三	120	122	154	15.0	33.5	42
		116	118	148	14.5	32.0	40
		112	114	143	14.0	30.5	38
		108	110	138	13.5	27.0	34
一 才	特 一 二 三	115	115	144	14.0	32.0	40
		110	110	138	13.5	30.5	38
		105	105	131	12.5	29.0	36
		100	100	125	12.0	26.5	33
八 月 齢	特 一 二 三	105	99	126	12.5	30.5	38
		100	94	120	12.0	29.0	36
		95	89	114	11.0	27.0	34
		90	85	108	10.5	25.5	32

魯西黄牛の測尺値は、6項目の内の最も低い項目を基にして、その等級を定める。以下のような状況においては、その等級を一級上げることができる。

① 6項目の基準の内の最低の1項目が他の5項目の中の最低の項目より一級低いもの。② 6項目の基準の内最低の1項目が、その他の5項目の中の最低より二級低いもの。

魯西黄牛の雄の体の各部位の数値の基準は表4参照。

魯西黄牛の雌の体の各部位の数値の基準は表5参照。

## 2. 3 生産性の基準

### 2. 3. 1 体重の基準

体重の基準については、表6参照。

体重測定は、実際に重さをはかる（朝、飼料給与前にはかる。2日測定し、その平均値をとる）のがよいが、それができない場合は、下の公式によって推定値を割り出す。

$$\text{体重 (kg)} = \text{胸囲}^2 \text{ (m)} \times \text{体斜長 (m)} + 90$$

表6

kg

性別・等級 年齢	雄 牛				雌 牛			
	特	一	二	三	特	一	二	三
五才以上	640	580	520	480	440	400	365	330
四 才	590	535	480	435	410	370	340	310
三 才	525	470	425	385	385	355	315	290
二才半	460	420	385	350	340	315	280	260
二 才	380	345	315	283	300	275	250	225
一才半	320	295	265	240	260	235	210	190
一 才	245	225	200	180	220	190	165	140
八月齢	180	165	145	130	145	125	105	90

### 2. 3. 2 けん引力については、表7参照

表7

単位：%

等 級	体重に占める最大けん引力の割合	
	成年雄牛	成年雌牛
特	65	60
一	63	58
二	60	55
三	58	53

### 2. 3. 3 生産能力の等級検査については、表8参照

体重及びけん引力の等級に基づき、表7によって生産能力の等級を定めるが、たとえば、けん引力を測定していないような場合には、暫時、体重の等級を生産能力の等級として計算する。

表 8

項 目		体 重			
		特	一	二	三
けん 引 力	特	特	一	一	二
	一	特	一	二	二
	二	一	一	二	三
	三	二	二	二	三

2. 4 後代の成績に基づく評価基準

後代の成績は、雄牛の等級決定の重要な拠り所となる。審査対象雄牛が半 1. 5～2 才の時、1～2 カ月の間に、当該雄牛より一級低い雌牛 20～30 頭と交配し、その産子について通常の条件下で、飼育して 8 ないし 18 カ月齢時に審査の上等級を決定する。そして、75% の（子）牛の等級が、母牛の等級を上回り、また等級外のものが表れない場合、雄牛の等級を一等上げる。又、60% の（子）牛の等級が、母牛の等級と同じか、それを下回る場合、種牛の等級を一級下げる。後代の成績が、上述の 2 例のパーセンテージの中間の場合、種牛の等級は変えない。

2. 5 総合評価

種牛の総合評価については、後代の成績を重視する。後代の成績に関する飼料がない場合には、暫時、外貌、測尺値、生産能力（或いは体重）の等級により、表 8 に基づいて総合評価を行う。この方法は、雌牛や予備の種牛の総合評価にも適用する。

総合評価を行う場合、可能な場合は父母牛の等級も考慮する。父母のどちらかが審査対象牛より 2 級上で、残りの一方も一級上の時は、審査対象牛の等級を一級上げる。反対に、父母が審査対象牛より、それぞれ 2 級、1 級又は 1 級、2 級下回る時は、その牛の等級を一級下げる。

父母と後代の成績に矛盾が生じた場合は、後代の成績を主として考慮する。

魯西黄牛は、2 才、3 才、5 才時、あわせて 3 回審査し、5 才以降は、検定をしないが、後代の成績によってその等級を調整することができる。

繁殖の用に供するものは、雄では 2 級以上のもの、雌では 3 級以上のもので健康なものである。



表 9

各項目の等級			総合評価	各項目の等級			総合評価
特	特	特	特	一	一	一	一
特	特	一	特	一	一	二	一
特	特	二	一	一	一	三	二
特	特	三	二	一	二	二	二
特	一	一	一	一	二	三	二
特	一	二	一	一	三	三	三
特	一	二	二	二	二	二	二
特	二	二	二	二	二	三	二
特	二	三	二	二	三	三	三
特	三	三	三	三	三	三	三

### 3. 測尺及びけん引力の測定の方法と標準

#### 3. 1 測定器具

体高・体斜長はものさしで、胸囲管囲は巻尺で、腰角幅・尻長は骨盤測径器ではかる。測定器具は、事前にはがね巻尺で誤差を訂正しておく。

#### 3. 2

測定は、平らな場所で行い、前後肢が左右それぞれ一直線上に並ぶようにする。頭部は、自然な形で前に伸ばしたような状態にする。(後頭骨と、き甲がほぼ水平になる)

#### 3. 3 測定部位

##### 3. 3. 1 体高

き甲の一番高い所から地面までの垂直の距離。

##### 3. 3. 2 体斜長

形の前縁から、坐骨の突起の後端までの直線距離。

##### 3. 3. 3 胸囲

肩甲骨の後ろ縁端で、胸部の垂直な円周をはかる。その時、2本の指を入れて上下に滑らせることができるくらいのゆるみを持たせるのが適当である。

##### 3. 3. 4 管囲

前肢の管骨の上、三分の一の所(一番細い所)で水平な円周をはかる。

##### 3. 3. 5 腰角幅

左右の腰骨の突起の間の直線距離をはかる。

##### 3. 3. 6 尻長

腰角前縁から、坐骨端までの長さをとる。

### 3. 4

固い地面（コンクリートやれんがなど）で体高をはかる場合、実際にはかかれた数値に1 cm足す。  
（ものさしの下につけたねじの高さ）

### 3. 5 けん引力の測定

計測器を牛と鋤の間にセットし、声をかけて、牛に力いっぱい鋤を引かせる。鋤がだんだんと深く入って行って、それ以上引くことができなくなるまで続ける。この方法における計測器の示した最高の数値が、けん引力最高値である。3回測定を行い、その平均値をとる。3回の測定は、ある一定の間隔をもって行わなければならない。

## 付 録 A

種牛の精液・性状の標準

A 1. 1回の射精量が、 $3\text{ cm}^3$ 以上（3回の平均値を1回の射精量とする）。

A 2. （原）精液の濃度が、 $1\text{ cm}^3$ に6億以上で精子活動が0.7以上。

A 3. 精子が耐凍能に優れ、融解後の活力が0.3以上であること。

本標準は山東省農業長が提案した。

魯西黄牛、魯西黄牛標準起草グループによって起草された。







JICA